学生の確保の見通し等を記載した書類
獣医保健看護学科

【本文目次】

I.　学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況　p. 2

1. 獣医学部獣医保健看護学科設置に当たっての麻布大学の現状把握・分析
2. 地域・社会的動向等の現状把握・分析
3. 獣医学部獣医保健看護学科の趣旨目的、教育内容、定員設定等
4. 学生確保の見通し
5. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

II.　人材需要の動向等社会の要請　p. 11

1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）
2. 上記「1」が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

I. 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

1. 獣医学部獣医保健看護学科設置に当たっての麻布大学の現状把握・分析

麻布大学（以下「本学」という。）は、獣医師の養成を目的として明治 23 年に東京獣医講習所の開設を起源とし、社会の要請に応じて獣医学、畜産学等の高い専門性とともに、幅広い視点で社会に活躍できる人材を育成すべく、不断の教育研究の改善に努め、獣医学教育の発展に貢献し、多数の獣医師、関連した職域において活躍する人材を輩出し、今日における獣医学ブランドの確立に至っている。

本学が設置する動物応用科学科の令和 2 年度から令和 4 年度の過去 3 年間の入学者アンケートにおいて、入学の決め手となった理由として「ヒト、動物、環境について総合的に学べる」が平均で 24.5%、また、大学の学びの場・自分の成長の場として魅力に感じるものとして「動物とふれあう場の充実」が 73.7%と同項目中で最も多く挙げられ、動物への高い関心が伺える。〔資料 1〕また、過去に実施したオープンキャンパスなど高校生を対象とした説明会では、同学科のカリキュラムによる認定動物看護師の受験資格の可否について一定数問合せがあること、愛玩動物看護師法が制定されて以降は、卒業生から愛玩動物看護師国家試験の受験資格を得るための特例講習会の受講資格の問合せも一定数あり、愛玩動物看護師への潜在的なニーズがあることが示されている。

本学は二次診療動物病院として附属動物病院を擁し、最先端の獣医療及び教育研究を施しており、現在、老朽化の対応を含む建物の増改築によるハード面での機能強化、人的資源の有効活用、業務改善などのソフト面の両面から多岐にわたる改革を図っている。この中で、高度な獣医療は獣医師のみにより成立するものでなく、動物看護師（旧制度）、薬局、滅菌、検査に携わる者の質の高さと有機的連携が獣医療におけるチーム医療に貢献するとの認識が強く示された。加えて、「Ⅱ．人材需要の動向等社会の要請」に示すとおり愛玩動物看護師の国家資格化により、社会的に重要性と役割が明確化されたことは獣医療、その周辺職域の産業界において発展が予測される。

以上のことから、本学の大学の改革・発展の方向性として、これまで発展に貢献してきた獣医学、畜産学、動物科学分野の更なる進展を図り、同職の人材を育成することが本学の責務であり、獣医保健看護学科（以下「本学科」という。）を設置することに妥当性があると判断したものである。

2. 地域・社会的動向等の現状把握・分析

近年、社会的な動向として、少子高齢化も背景に愛玩動物を家族の一員として役割を担うようになり、より高度な獣医療のみならずペットフードによる食事からの健康面、問題行動に対する対応などニーズが多様化し、専門性と適切な対応が求められている。

全国の猫の飼育頭数は平成 25 年以来緩やかに増加しているが、犬の飼育頭数は減少傾向である一方、新型コロナウイルス禍（以下「コロナ禍」という。）の影響による外出自粛、在宅勤務などの勤務形態が変化したこともあり、愛玩動物との生活に癒やし、やすらぎを求めたり、家庭内でのコミュニケーションが深まり、1 年以内の新規飼育者の飼育頭数は、犬・

猫ともにコロナ禍前の令和元年と比較して令和 2 年、3 年ともに増加している状況である。〔資料 2〕また、コロナ禍を背景に全国的に新たな生活様式、多様な勤務形態が普及していることから、今後の飼育頭数の増加が期待できる。

本学科と併設する獣医学部獣医学科及び動物応用科学科の都道府県別の志願者及び入学者は東京都、神奈川県が最も多く、埼玉県、千葉県など主として関東圏からの割合が多く、また、両学科の都道府県別の就職先においても東京都、神奈川県が最も多く、学科による特性があるものの概ね関東圏、東海地域を主として就職実績がある。〔資料 6、資料 7、資料 8、資料 9、資料 10、資料 11〕

また、農林水産省が公表している全国の都道府県別動物診療施設のうち、関東圏は 40.9%を占めており、獣医師 10 人以上の大規模小動物診療施設は 52.2%を占めており〔資料 4、資料 5〕、仮に獣医師 1 人に対して愛玩動物看護師 2 人で獣医療チームを構成するとすれば、当該地域は特に高度な獣医療及び多様なニーズがあると言え、本学の志願者、入学者、就職動向を踏まえると、学生確保及び人材需要の双方において地域的な動向に合致したものと判断される。

このような中、従来の基軸とした動物看護師（認定動物看護師）ではなく、専門的知識の情報の活用ができるリテラシー及び獣医療のチームワーク診療の実施と飼育者や地域住民と適切にコミュニケーションを図ることができるコンピテンシーを基軸とした教育課程を編成する愛玩動物看護師養成課程を持つ高等教育機関は見受けられない状況である。

3. 獣医学部獣医保健看護学科の趣旨目的、教育内容、定員設定等

(1) 獣医保健看護学科の設置による貢献及び設置の理由

1 及び 2 を踏まえ、大学として獣医学、畜産学、動物科学科分野において活躍する人材を育成してきた本学において、当該分野の発展に貢献する愛玩動物看護師の養成は大学の発展のみならず、獣医療、ペット産業等の産業界への永続的な発展の貢献に資するものと考えられること、愛玩動物看護師が国家資格化された社会的背景に獣医療を担う者として重要性が高いこと及び従来とは一線を画し、社会で求められる能力に対応したリテラシー及びコンピテンシーを基軸とした愛玩動物看護師を獣医学科に併設し、附属動物病院など獣医療に関連する質の高い施設が多く整備された環境で教育研究を行うことにより「ヒトと動物と環境の共生を支える」理念を持ち、獣医療の発展とそれを介したヒト社会の健康と福祉、生活の質（QOL）の充実に貢献するものとし、社会情勢に応じて迅速に対応するため獣医保健看護学科を設置する。

(2) 定員及び学生納付金の設定の考え方

定員及び学納金の設定に当たっては、大学として適切な教育研究環境、学園の財務状況、受益者である学生への説明責任、競合校となりうる大学の状況、令和 18 年度以降、18 歳人口の減少が急速に加速し、入学者確保の不確実性が高まることから、令和 17 年度までに収支均衡を図ることとして評価を行い、次のとおり入学定員及び学納金額を設定し

た。

①入学定員：70 人、収容定員：280 人

入学定員は、本学科の学問領域の強化を図る一方、著しい 18 歳人口の減少、併設する食品生命科学科及び環境科学科における定員未充足への対応、施設の収容定員に鑑み、大学全体としての規模の抑制に努めることが適当であると判断し、大学の総定員数を変更せず、本学科の適切な定員は 70 人であると判断した。

②学納金額

年次	学期	入学金	授業料	施設設備費	納入金額
1	前期	250,000	525,000	50,000	825,000
	後期		525,000	250,000	775,000
	年額	250,000	1,050,000	300,000	1,600,000
2・3・4	前期		650,000	150,000	800,000
	後期		650,000	150,000	800,000
	年額		1,300,000	300,000	1,600,000
総額（4 年間）					6,400,000

学納金額は獣医保健看護学科の学士（獣医保健看護学）を修業年限 4 年授与するに足る教育を修了することに対しての総額であり、学生に対する適切な教育研究環境を必要なものとして平準化し、学年進行における実習の増加に伴う費用を考慮しながら、入学金を除いて学年によらず総額において同一金額を設定する。

なお、獣医学科を併設した愛玩動物看護師養成課程を持つ競合校と予測される大学と比較して、本学科の学納金額はやや高いが、本学が持つ獣医学、畜産学、動物科学の成果を輩出した教育研究基盤の中で、新しい基軸による愛玩動物看護師を養成することは教育研究分野の発展と社会への還元に高い価値があると考えられることから、妥当な金額と判断される。〔資料 12〕また、本学の修業年限が 6 年の獣医学科を除く、そのほかの 4 学科の学生と同環境において等しく還元する必要との考えと併せて学納金額を設定した。

4. 学生確保の見通し

(1) 学生確保の見通しの調査結果〔資料 13〕

本学科の入学志願者動向等の見通しに当たり、第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）によるアンケート調査を実施した。調査は本学への志願、入学実績、通学利便性等、本学科の学生確保の基盤となる地域の高校を中心に、令和 5 年度卒業予定の高校 2 年生を対象とし、111 校 12,131 件の有効回答が得られた。

その結果、「受験したい」と回答した者は 814 人、このうち「入学したい」と回答した

者は 271 人であり、入学定員 70 人に対して志願希望者にあっては 11 倍、入学希望者は 3.8 倍を上回り、高い意欲が示された。

加えて、「大学進学希望者/農学分野に興味がある/本学科受験意欲がある者/本学科入学意欲」のある者は 119 人であり、定員充足が見込めるとともに「獣医学部獣医保健看護学科の趣旨目的、教育内容、定員設定等」に示す定員設定の適切性も示された。

また、本学の受験意欲に関わらず愛玩動物看護師の国家資格化の認知度については、「知らない」と回答した者が全体の 79.4%を占めており、認知度が低い一方、本学科の特色とする 5 つの項目への興味・関心については教育に係る 4 項目においては概ね 30%程度が「興味・関心がある」と回答していることから、動物と人の健康と福祉の増進、多種多様な動物との共生に貢献できること及び併設する獣医学科及び動物応用科学科並びに附属動物病院による実践力や質の高い教育研究環境の優位性に対して高い興味・関心が示され、高校生からの視点による本学科の教育の方向性のニーズ及び妥当性も確認された。

以上のことから、本学科における学生確保の見込みがあると判断される。なお、今後愛玩動物看護師の国家資格化に対する認知度の拡大により、当該職への関心が高まると予測され、さらに本学科における学生確保が見込まれる。

(2) 新学部等の分野の動向

令和 5 年 4 月 1 日現在において愛玩動物看護師養成課程を持つ大学は、全国で 11 大学あり、このうち、令和 4 年度に帝京平成大学、令和 5 年度に日本大学が新たに同課程を擁するコース又は学科を設置しており、令和元年に愛玩動物看護師法成立による社会的需要が見込まれたこと、学問領域の発展等を図ったものであり、分野を担う規模は拡大している中、全ての大学において過去 3 年間で概ね同水準の定員を上回る志願者数を確保している。〔資料 14〕また、獣医学、獣医保健看護学、動物科学等の分野の志願者は、動物を介した医療分野や動物愛護・福祉に強い関心があり、かつ、関連が強い学科が同じ大学にあることで、より高い教育研究環境での学びが得られると期待していると示唆される。

これらの動向から、本学科の愛玩動物看護師に養成における新たな基軸による教育方法と獣医学科併設による教育研究環境的側面、「(1) 学生確保の見通しの調査結果」の調査から定員を確保できると判断した。

(3) 中期的な 18 歳人口の全国的、地域的動向等

18 歳人口の全国的な動態について、令和 2 年に 116.7 万人から令和 14 年には約 12.3%減少し、102.3 万人となる予測されており、また、地域別の動態について、本学が所在する関東圏の令和 2 年から令和 14 年までの減少率は 6.2%であり、そのほかの地域と比較すると減少率は低い。〔資料 15、資料 16〕また、「2. 地域・社会的動向等の現状把握・分析」のとおり、本学科と関連の深い分野である獣医学科及び動物応用科学科の都道府県別の志願者数及び入学者数の実績として、関東圏からの志願者等が多いが、当該都県の人口減少率は低く、大学進学率も全国平均を上回ることが予測されることから、全国的な 18 歳人口

の減少の影響はあるものの、関東の減少率は緩やかであり、資料 13 の調査結果と併せて本学科の定員を充足可能である。

(4) 競合校の状況

令和 5 年 4 月 1 日現在において愛玩動物看護師養成課程を持つ大学は、全国で 11 大学あり、このうち獣医学科を併設した同課程を持つ大学、学位の分野、本学の立地状況を踏まえ、実質的な競合校は 6 校と考えられるが、1 校は令和 5 年度開設のため、必要なデータがないことから、5 校を対象として分析を行った。

競合校の過去 3 年間の入学志願状況の推移では、定員に対する志願者数は、やや微増傾向入学定員充足率は平均 115%であり、各大学の地域的な人口動態から考えると、当該分野の志願動向は農学系分野全体の中でも安定している。特に東京都に所在する 3 大学については志願倍率 4 倍～7 倍であり、令和 5 年度に開設する大学の定員数を考慮しても、愛玩動物看護師養成課程を持つ大学は全国的に少数であること、今後は愛玩動物看護師の国家資格化が広く認知されることにより更に分野への志願者数が増加すると見込まれ、「設置の趣旨を記載した書類」に示す特色の差別化により本学科における定員充足を見込むことができる。〔資料 14、17〕

(5) 既設学部等の学生確保の状況

本学が設置する学部学科の過去 5 年間の入学志願状況及び定員充足状況は資料 18 のとおりであり、獣医学部獣医学科、動物応用科学科及び臨床検査技術学科にあっては、18 歳人口の減少の動向と同じように年々志願者数の減少がみられるものの定員は充足している一方、生命・環境科学部の食品生命科学科にあっては、令和元年度から令和 4 年度、環境科学科にあっては令和 2 年度から令和 4 年度において入学定員未充足の状態である。

本学科の定員設定に当たっての考え方は「3-（2）定員及び学生納付金の設定の考え方」のとおりであるが、本学科の学問領域の強化を図る一方、併設する食品生命科学科及び環境科学科が 4 年又は 3 年連続の定員未充足が翌年度の入学者確保に影響を及ぼしていることから、志願者数等の推移、両学科の志願者及び入学者の出身者が最も多い東京都、神奈川県の 18 歳人口動態、また、「1. 獣医学部獣医保健看護学科設置に当たっての麻布大学の現状把握・分析」のとおり動物応用科学科における愛玩動物看護師養成課程への潜在的ニーズによる学科内併願数の増加が見込まれることから、生命・環境科学部食品生命科学科は入学定員を 80 人から 40 人、環境科学科は 80 人から 60 人、獣医学部動物応用科学科は 130 人から 120 人に変更し、大学の収容定員数を維持した上で、本学科の適切な定員を 70 人とし、大学全体としての規模を抑制し全学的な学生確保に努めることが妥当であると判断される。

なお、本学科の入学定員 70 人の確保については、「(1) 学生確保の見通しの調査結果」の第三者機関であるアンケート調査結果と併せて学生の確保を見込むことができる。

5. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

(1) 全学的な広報活動について

学生確保に当たっては、18 歳人口の減少、「(5) 既設学部等の学生確保の状況」とおり本学の定員未充足学科の対応も含めて、令和 5 年度については、広報戦略基本方針骨子として「大学・学部学科の認知から資料請求・来校を通じた出願確保及び入学歩留まりの改善」を掲げ、重要事項として全学的に取り組む計画である。なお、学生確保においては社会情勢により志願動向など流動的な事案もあることから、毎年度方針の見直しを図りながら着実に学生の確保に努めるものとする。

①学生募集に係る基本戦略について

高校生の本学認知度を高めるとともに、資料請求者を獲得し、母集団形成を行うため、効果的に進学情報サイト等に出稿し、これを通じて形成された母集団に対し、大学案内、学科校のリーフレット、ポストカード、入試ガイド等各種自学媒体を発送することで、志望度醸成と来校誘致を図ることとする。

高校内説明会（外部会場）は高校生及び高校教員と直接接点が得られること、事前に動員人数を把握できること、同説明会に参加している大学から志望校を選ぶ高校生がいることから、可能な限り積極的に参加することとする。進学相談会（外部会場）は会場の動員人数が年々減少傾向にあるものもあることから、過去の実績及び効果を勘案した上で参加するものとする。

オープンキャンパスは、主に 5 月から 8 月にかけて実施する。特に、本学は設置する学科の特性上、来校型のオープンキャンパスによる実習体験、在学生及び教員による相談、キャンパスツアー等により教育研究内容の深化や入学意欲の向上など出願への意思決定に寄与度が高いことから、精力的に実施するものとする。オープンキャンパスへの動員については、令和 4 年 5 月から 8 月に実施したオープンキャンパス来場者アンケート調査結果から、「大学ホームページ」、「本学からのダイレクトメール」、「進学情報サイト」及び「保護者からのすすめ」の回答で 89.2%を占めていることから、進学情報サイトへの出稿により本学の認知を図り、大学ホームページでの情報提供を主軸とし、ポストカードや E-mail などのダイレクトメール（以下「DM」という。）により高校生や保護者への直接的な周知を図ることを第一義とする。

高校訪問は、入学実績や高校教員からの影響力が強いと考えられる農業高校や私立高校を中心として関係構築を図ることとする。

（ア）高校 3 年生を対象とした広報基本戦略

高校 3 年生との接触に強みを持つ進学情報サイトに出稿することで、総合型選抜や学校推薦型選抜等年内入試（以下「年内入試」という。）への出願を検討している資料請求者の獲得を目指す。加えて、高校 3 年生を対象とした高校内説明会には積極的に参加することで同学年の母集団形成を図る。また、主に高校 3 年生及び既卒生を対象としたオープンキャンパスを 3 月、5 月、6 月に開催するほか、年内入試対策となる

予備校講師による入試徹底解説を開催し、年内入試への出願を目指す。

（イ）高校 1～2 年生を対象とした広報基本戦略

高校 1～2 年生との接触に強みを持つ進学情報サイトに出稿するとともに、全学年を対象としたオープンキャンパスを 7 月、8 月及び 10 月に開催することで、早期接触を図る。また、高校 1～2 年生を対象とした高校内説明会においては、高校 3 年生と比較して模擬授業や系統別ガイダンスが多く開催される傾向があり、これに積極的に参加することとする。

（ウ）高校教員等を対象とした広報基本戦略

年内入試出願者確保を目指し、6 月から 7 月末にかけて、入学実績や関係性（指定校・協定校等）、資料請求者数を調査し、高校を選定の上、訪問を実施する。また、11 月から 12 月下旬にかけて、年内入試への出願実績のあった高校等へお礼訪問をすることで関係深耕を図る。

これらの訪問を通じて、高校現場における進路指導の傾向を情報収集し、次年度は更に計画的かつ効率的な高校訪問となるよう努めることとする。

②広報制作物について

本学の募集プロセスにおいて、資料請求者や接触者に対し、継続的かつ有効な情報提供を行い、志望度醸成につなげるため、配布時期と用途に応じて、広報制作物を数種類制作し、母集団との接点強化を図ることとする。

（ア）大学案内（総合案内）

大学の理念や学ぶ内容、学部学科の特徴や強み、学生支援に関する取組を端的に説明する「総合案内」と位置づけ、配布開始時期を実質的な新年度の開始となる 3 月下旬のオープンキャンパスとし、新高校 3 年生にいち早く手交できるよう目指す。

（イ）学科リーフレット

研究活動や最新の進路実績を掲載するなど学科の特徴をより訴求できる内容としたリーフレットを制作することとする。イベント来場者のみならず、志望学科を登録した高校 3 年生に対し郵送するなど、接点強化を図るコンテンツとする。

（ウ）ポストカード・入試ガイド

イベント開催前にはポストカードを制作し、資料請求者に対して郵送することでイベントへの動員を図る。また、入試徹底解説イベントの実施前には、年内入試の内容を簡潔に伝える「入試ガイド」を併せて制作することで、出願者確保を目指す。

③本学認知度拡大と母集団の形成について

進学情報サイト等に掲載し、本学の認知度向上及び資料請求者の確保を行い、この母集団に対し、志望度醸成及び来校誘致を図ることとし、より効果が認められる媒体に積極的

に出稿することとする。

④出願者確保及び歩留まり対策について

令和 4 年 3 月から 10 月にかけて実施したオープンキャンパス等のイベントにおける来校者の令和 4 年度内入試出願歩留まりについて、来校数 1 回の参加者の出願歩留まりは 12.7%～20.6%と幅があるが、来校者数 2 回以上の参加者の平均出願歩留まりは 67.4%で、リピーターを多く取り込めた学科が志願者確保につながっていることが明らかとなった。また、イベント別の出願歩留まりの傾向は学科により異なっているものの、各学科において来校数 1 回の出願歩留りを改善するため、オープンキャンパスのプログラムを検証し改善を図るとともに、リピーターが参加しやすい入試徹底解説等のイベントの開催により出願歩留りを向上させていることから、生命・環境科学部の 3 学科に加え動物応用科学科及び獣医保健看護学科でも実施を目指すこととする。また、体験授業の内容を事前に告知することで、リピーターが参加するきっかけにつながることから、オープンキャンパス実施 1 か月前にはイベント内容等を公開できるよう管轄部署と学科間の連携をさらに密にして実施することとする。

一般入試については、11 月下旬から 12 月上旬に「一般入試徹底解説」を開催し、予備校講師による科目解説を実施するほか、大学説明会を併せて実施することで出願確保と入学歩留まり改善を図る。なお、一般入試及び大学入学共通テスト合格者を対象に、入学前説明会を 2 月又は 3 月に実施するなど歩留り対策を講じ、入学者確保を目指すこととし、内容については、学生生活支援、学納金、奨学金などの経済支援、就職・キャリア支援など入学後に安心して学業に取組めることを訴求する内容とし対策を講ずることとする。

⑤獣医保健看護学科に係る広報戦略について

本学科設置に伴い、「6. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果①～③」に加えて認知拡大及び出願者を確保するため、進学情報業者が発刊する DM 特別広報誌に掲載し、模試受験者に郵送するほか、「新増設企画」にそれぞれ出稿する。さらに、高校 1～2 年生の進路指導や探究活動に利用する進学情報サイトに講義動画を掲載することで、早期接触を図ることとする。

また、本学園には麻布大学附属高等学校が設置されていることから、本学科設置を契機に改めて生徒の動向や教員からの意見を参考にしながら麻布大学附属高等学校からの出願につながるよう働きかけを行うものとする。

本学科の広報活動に当たっては、リテラシー及びコンピテンシーを中心とした愛玩動物看護師養成教育、最先端の獣医療と臨床獣医学研究を実施している動物病院における実践教育と、これまでに構築した獣医学科卒業生への支援実績を生かして、着実に動物病院を主体とする就職支援を強みとして PR することとする。また、本学は公益財団法人日本動物病院協会（以下「JAHA」という。）と包括協定を締結し、全ての臨床実習先を JAHA 正会員の動物病院とすることで高い質における実習教育体制を整備しており、そ

の意義について本学を卒業した獣医師等同分野の産業界に携わる保護者を通じて子供（高校生）に理念が共有されることにより、学生確保につながることが予測される。

⑥文部科学省補助金による教育改革に係る事業について

本学は令和 2 年度に文部科学省補助金「知識集約型社会を支える人材育成事業 メニューⅡ:出る杭を引き出す教育プログラム」（以下「出る杭」という。）及び令和 4 年度に文部科学省補助金「デジタルと専門分野の掛け合わせによる産業 DX をけん引する高度専門人材育成事業」の教育改革に係る事業に採択されている。特に出る杭は、「設置の趣旨等を記載した書類」に記載したとおり、全国で唯一され、研究をとおした STEM 型教育プログラムであり、令和 4 年度における中間評価において最高評価である「S」を獲得している。当プログラムは一定の参加条件が付されるものの、1 年次から研究に携わることで学生のサイエンスリテラシー、コンピテンシーの向上が検証されている。また、当事業における高大接続の推進により 4 校と協定を締結し、希望する高校生を対象に半年又は 1 年間、大学教員による「いのちと共生の研究プログラム」を開講し、本学の魅力や科学的見識を伝えるとともに学生確保につなげている。また、令和 5 年度からは「いのちと共生の研究プログラム」を受講した生徒を対象に特別入試制度を設けることとなり、高大接続の推進、ホームページの刷新を図るなど、出る杭を対外的に積極的に PR し、学生確保につなげることとする。

(2) 入学定員未充足（0.7 倍未満）の学科に対する学生確保に向けた取組等について

本学の既設学部の定員充足率は「4.（5）既設学部等の学生確保の状況」のとおりであり、入学定員充足率 0.7 倍未満の学科は生命・環境科学部 食品生命科学科であり、同学部環境科学科は 0.7 倍未満ではないものの、今後の定員充足が危ぶまれることから、前述した「5.（1)全学的な広報活動について」の全学共通の取組に加えて、次の事項に取り組み、学生確保を図っている。

①学園施策による対応ついて

（ア）戦略的広報活動

当該学科の志願状況、学園の安定的な経営を踏まえ、学生の確保が最も重要であるとの認識に立ち、コンサルティング会社の協力を得ながら、近年の入試結果調査、実態調査などを実施し、戦略的な広報活動を行うこととして、令和元年度から 2 か年にわたって、管轄事務局とともに関係教員の協力の下、リスティング広告の導入による Web 上の接触回数の向上、効果的な動画作成、各種マーケティング調査、志願者の動向調査などを行い、定期的に進捗状況及び今後の施策についてコンサルティング会社と役員で意見交換を行うなど、志願者確保に向けて集中的に実施し、特にリスティング広告はホームページの閲覧数とともに資料請求数の向上に一定の効果が得られた。

（イ）学園重点施策事業（特任教員戦略的活用）

学園の重点施策事業として、当該学科に対して「教育の質の向上」、「学科の特徴の明確化」及び「ステークホルダー満足度の向上」を図ることを目的として、令和元年度から事業を開始し、最大5か年を限度とし「重点施策事業（特任教員戦略的活用経費）」を導入し、事業の募集・選考を経て、食品生命科学科2事業、環境科学科3事業が選定された。全5事業のうち、令和4年度現在において継続しているものは環境科学科の3事業であり、食品生命科学科の事業にあっては、1事業にあっては事業完了をもって終了し、1事業にあっては、学科内の教育・研究体制の見直しに伴い、担っていた教育内容を正課カリキュラムにて充実を図ることとなった。また、令和4年度に中間報告会を実施し、各事業の取組内容と学生の授業アンケート（自己評価を含む）の結果を受けて、学生の自己評価に対する成長度を把握するとともに授業改善に取り組むことで学生の満足度向上にも寄与していると考えられる。これらの取組の認知は進み、当事業により学生教育への充実・向上、地域、企業との連携、志願者確保を認識した広報活動により、定員未充足であるもののアンケート等から募集活動に貢献していることと併せて「3. 獣医学部獣医保健看護学科の趣旨目的、教育内容、定員設定等」に記載したとおり定員変更により両学科の定員充足の改善が見込まれると考えられる。

（ウ）入試制度

当該学科の定員未充足の改善に当たり、令和2年度から3年度にかけて当該学科の志願、入学実績の高い高校6校と本学生命・環境科学部との教育連携協定を締結し、高校との深耕を深めながら、指定校推薦型入試における重点校として位置づけ、教育内容のPRとともに推薦枠を通常1人のところ2人にするなど年内入試での学生確保とともに教育における相互連携を図っている。

以上のことから、学生の確保に当たっては全学的な取組とともに、本学科の特徴を戦略的にPRし、定員未充足の学科の充足に努めることとする。

Ⅱ. 人材需要の動向等社会の要請

1. 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

獣医保健看護学科では、愛玩動物看護師として、動物愛護及び適正飼養など、ヒトと動物の健康と福祉、QOLの向上にかかわる分野の科学的根拠に基づいた貢献ができ、さらにヒトと動物の生命と福祉及び未来の共生社会に対して社会的使命を遂行できる能力を持つ人材の養成を目的とする。

2. 上記「1」が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

(1) 社会的、地域的な動向

社会的な最も大きい動向として、令和元年に愛玩動物看護師法が制定され、愛玩動物看

護師が国家資格化したことである。同法が制定された背景として高度化及び多様化する獣医療に果たす役割への期待及び飼い主による健康管理やしつけなど、「愛玩動物に関する獣医療の普及及び向上並びに愛玩動物の適正な飼養に寄与」が求められおり、これらを踏まえた愛玩動物看護師の養成が必要となる。地域のかかりつけ動物病院に位置づけられる一次診療動物病院にあっては、全ての診療分野の補助に関する幅広い知識と技術が求められる一方、大学附属動物病院や民間の高度医療センターとして位置づけられる二次診療動物病院においては、広範的な知識に加えて各診療分野に特化した専門的な知識と技術のほか、獣医療におけるチーム医療における役割が求められている。

農林水産省に届け出ている全国の都道府県別飼育動物診療施設は、令和 3 年 12 月 31 日現在において 16,478 施設であり、その中で小動物診療施設は「小動物、その他」に区分され、その数は 12,435 施設で、届出全体の 75.4%を占めている。〔資料 3〕このうち、本学が所在する関東圏は、全国の 40.9%を占める小動物診療施設がある。〔資料 4〕また、全国の動物病院の規模において、82.8%の小動物診療施設は獣医師 1 人及び 2 人で診療を行う小規模施設である一方、高度な機器を用いた検査、機器による獣医療を求める飼い主が多いことから、獣医師が 10 人以上の大規模小動物診療施設は、全体で令和 3 年において 2.5%であり、年々増加傾向にある。特に、関東圏は 40.9%を占める小動物診療施設がある上、獣医師 10 人以上の大規模小動物診療施設は 52.2%を占めている。〔資料 5〕農林水産省が公表している獣医師法第 22 条の届出によると、令和 2 年においては小動物診療に関わる獣医師は 16,203 人であり、令和 3 年動物看護師統一認定機構に登録されている認定動物看護師数は 30,693 人であるが、認定動物看護師として登録せずに獣医療の補助業務に従事している場合もあり、現在までのところ正確に全ての小動物診療施設において動物看護師数を把握した調査はないが、国家資格化に伴い獣医師同様に把握されることと思われる。

愛玩動物看護師養成課程を擁する他大学の令和 3 年度における進路状況は、2 校にあっては全体の 5 割程度が動物病院への就職実績がある一方、獣医保健看護学の知識を活かして動物関連企業、公務員、学術研究サービスへの就職実績がある。〔資料 19〕この進路先は愛玩動物看護師の国家資格化により、業種別就職先の割合に変化が予測されるが、同業種の特性上、動物病院への就職割合が多くなると考えられる。したがって、「2.地域・社会的動向等の現状把握・分析」に示すとおり、本学の入学者及び就職先の大多数が東京都、神奈川県などの関東圏からであること、就職先としても同地域が多数を占めている実績及び「4.(1)学生確保の見通しの調査結果」から、本学科の学生が関東圏に就職先として選択を希望すると予測されることから、同地域に多数の需要は本学にとって強みであるといえる。これらのことから、本学科においては主として臨床現場における愛玩動物看護師の養成を主軸として教育研究を行う方針であることから、多数の者が動物病院に就職を希望すると予測され、関東圏に所在する小動物診療施設数の観点から、需要は十分であると判断した。

また、本学科の教育研究上の目的、養成する人材像を定めるに当たり、本学での検討と

ともに公益社団法人日本動物病院協会（以下「JAHA」という。）及び本学で実施された獣医学科学生向けの合同動物病院説明会の参加した 26 の動物病院から、今後の愛玩動物看護師に求められる能力、人材像、給与水準の考え方などヒアリング又はアンケートを実施したところ、専門的知識や技術の修得とともにチーム医療を行う上での獣医師を始めとする医療従事者、飼い主等への適切な説明に係るコミュニケーション能力、日進月歩で進む医療に対する向上心が上位に挙げられた。これらの臨床現場における動物病院の現状と展望に鑑み、本学がこれまで築き上げてきた教育研究基盤、附属動物病院における高度な獣医療、社会への還元状況から、愛玩動物看護師養成においては、従来の基軸とした動物看護師（認定動物看護師）ではなく専門的知識や情報の活用ができるリテラシー及びチームワーク診療と飼育者や地域住民と適切にコミュニケーションを図ることができるようコンピテンシーを有した人材が求められていることから、これらを加味し、新たな基軸による愛玩動物看護師を養成することとし、教育研究上の目的及び人材像を掲げることとしたものである。

(2) 人材需要の見通しの調査結果〔資料 20〕

本学科の人材需要の見通しに当たり、第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）によるアンケート調査を実施した。調査は本学既存学科の就職実績、神奈川県及び東京都を中心とした動物病院、関連企業等を中心に、301 件の有効回答が得られた。

その結果、本学科の社会的ニーズについて、「ニーズは極めて高い」又は「ニーズはある程度高い」と回答した企業は合計 255 件で全体の 8 割を超え、本学科の卒業生に対する採用の意向については、「採用したいと思う」が 249 件で全体の 8 割を超える採用意向が示された。採用可能な人数の合計は 418 人（採用人数を未定とした場合は 1 人として取扱うものとする。）であり、このうち動物医療分野が最も多い 373 人（89.2%）であり、そのほか動物関連分野、バイオメディカル分野への採用意向もあることが明確となった。

また、採用したい理由は「愛玩動物看護師の国家資格取得した本学科卒業生が必要であること」であり、本学科に期待することとして、「広い知識及び高いコミュニケーション能力を有すること」が最も多く、産業界における需要に対する本学科の教育研究上の目的、3 つのポリシーの妥当性も併せて示された。

以上のことから、入学定員 70 人を十分に上回る需要が見込まれると判断される。なお、愛玩動物看護師法施行に伴い、社会通念上、愛玩動物看護師の業務を行う者のような印象を与える名称の使用が禁止されることから、動物医療分野における機能と質の維持を図るため、当該職の需要は更に拡大すると予測される。

学生の確保の見通し等を記載した書類
獣医保健看護学科

【資料目次】

資料 1	麻布大学入学者アンケート	p. 2
資料 2	犬猫の飼育頭数の推移（一般社団法人ペットフード協会）	p. 3
資料 3	飼育動物診療施設の開設届出状況（農林水産省ホームページ）	p. 3
資料 4	令和 3 年地域別飼育動物診療施設（農林水産省ホームページ）	p. 4
資料 5	令和 3 年地域別就業獣医師数別施設（農林水産省ホームページ）	p. 4
資料 6	麻布大学獣医学部獣医学科 都道府県別志願者数・入学者数（東京都・神奈川県）	p. 5
資料 7	麻布大学獣医学部動物応用科学科 都道府県別志願者数・入学者数（東京都・神奈川県）	p. 5
資料 8	麻布大学獣医学部獣医学科及び動物応用科学科 志願者数及び入学者数の上位 5 都道府県	p. 6
資料 9	麻布大学獣医学部獣医学科 就職者数（東京都・神奈川県）	p. 6
資料 10	麻布大学獣医学部獣医学科 就職者数（東京都・神奈川県以外）	p. 6
資料 11	麻布大学獣医学部動物応用科学科 就職者数（東京都・神奈川県以外）	p. 7
資料 12	競合校の学納金額	p. 7
資料 13	麻布大学 獣医学部 獣医保健看護学科（仮称） 学生確保の見通し調査【高校生アンケート調査】 報告書	p. 8
資料 14	競合校の志願動向等	p. 33
資料 15	18 歳人口の推移（文部科学省ホームページ）	p. 33
資料 16	地域別 18 歳人口予測値推移	p. 34
資料 17	私立大学における系統別の入学者数（文部科学省ホームページ）	p. 35
資料 18	麻布大学入学志願状況等について	p. 36
資料 19	競合校の業種別就職先状況（令和 3 年度）	p. 37
資料 20	麻布大学 獣医学部 獣医保健看護学科（仮称） 人材需要アンケート調査【設置構想に係る人材需要アンケート調査】 報告書	p. 38

問16. 本学本学科に入学した決め手となった理由は何ですか。（単一選択）

（人）

	獣医学科			動物応用科学科		
	2022	2021	2020	2022	2021	2020
	単一選択	単一選択	単一選択	単一選択	単一選択	単一選択
学問分野に興味があった	**48**	48	35	**47**	48	56
ヒト、動物、環境について総合的に学べる	8	9	13	**38**	42	40
イメージがよかった	6	9	16	4	4	4
入試方式・科目が自分にあっていた	5	6	12	4	1	3
難易度が自分にあっていた	3	2	2	0	2	3
キャンパスの立地・アクセスがよかった	9	10	9	2	3	6
施設・設備が魅力的だった	7	9	11	4	1	1
希望する資格が取得できそうだった	**14**	9	13	2	2	2
カリキュラム・教育制度が魅力的だった	1	2	1	2	1	2
周囲（家族・先生・知人等）からのアドバイスがあった	2	4	2	2	3	0
留学・国際交流ができそうだった	0	0	0	1	1	0
学費が適当であった	0	0	0	0	0	0
就職実績がよかった	0	0	0	0	1	0
キャリア・就職サポートプログラムが充実していた	0	0	0	1	0	1
教員の研究内容に興味があった	2	3	1	8	4	2
教員が魅力的だった	2	3	3	1	1	1
建学の精神に共感した	0	1	0	1	0	0
課外活動が充実していた	0	1	1	1	0	0
将来やりたいことが実現できそうだった	**23**	30	20	**15**	15	11
その他（他大学より先に合格していた、キャンパスに動物がいるなど）	5	7	6	2	2	0

（人）

▼その他

獣医 / ・志望校に落ちた(4件) ・入試日程が他の用事と被っていなかった

動応 / ・志望学科に落ちた ・獣医学科に転学科するため

臨床 / ・一番最初に合格通知が届いた ・家が近かった ・浪人を避けたかった

食品 / ・他大学を受験していない ・ハンドボール部があったから

環境 / ・志望校に落ちた ・なし(1件)

●**全体**

「**学問分野に興味があった**」　33.1%（2021年度33.2%、2020年度34.3%）

「**ヒト、動物、環境について総合的に学べる**」　14.6%（2021年度14.1%、2020年度13.3%）

「**将来やりたいことが実現できそうだった**」　11.9%（2021年度13.8%、2020年度9.2%）

●「**学問分野に興味があった**」以外の項目（獣医、臨床は希望する資格が取得できそうだったを除く）では、獣医学科は「**将来やりたいことが実現できそうだった(17.0%)**」、動物応用科学科は「**ヒト、動物、環境について総合的に学べる(28.1%、3か年平均24.5%)**」、臨床検査技術学科は「**将来やりたいことが実現できそうだった(15.6%)**」、食品生命科学は「**入試方式・科目が自分に合っていた、希望する資格が取得できそうだった(9.8%)**」、環境科学科は「**ヒ**

問22.「大学の学びの場・自分の成長の場として充実していたら魅力に感じるもの」は何ですか。（複数選択）

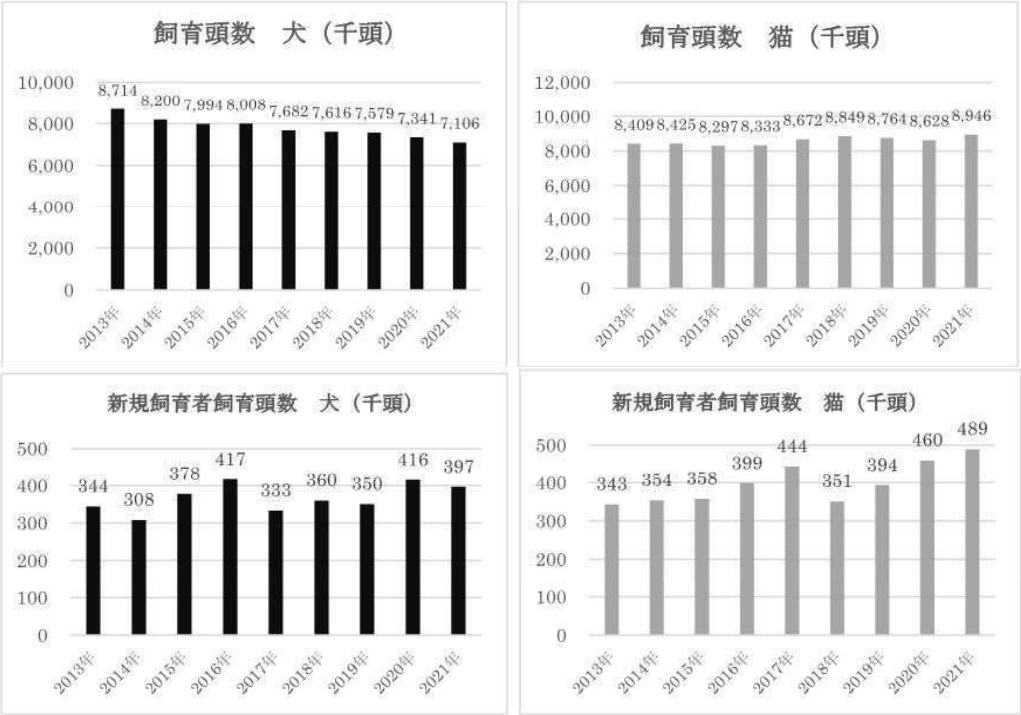
（人）

	動物応用科学科			平均
	2022	2021	2020	
学部学科を越えて、他学部他学科の学生との連携や共同授業の実施	**61**	**59**	**68**	**62.7**
専門的に活かせるデータサイエンス教育の充実	25	28	29	**27.3**
SDGs（持続可能な開発目標）等、時代の流れを取り込んだ授業の充実	35	**33**	26	**31.3**
企業と連携した授業や研究の充実	33	42	39	**38.0**
英語教育の充実	17	22	18	**19.0**
留学制度の充実	14	21	25	**20.0**
社会的ニーズの高い資格（国家資格及び民間資格）取得に向けた支援の充実	24	27	34	**28.3**
就職対策プログラム（例：筆記対策、面接対策、就職情報等）の充実	18	25	**31**	**24.7**
インターンシップ（仕事体験）等を用いた就職を意識した教育の充実	**35**	**37**	41	**37.7**
近隣他大学（例：青山学院大学、桜美林大学）との交流の場の充実	8	8	15	**10.3**
部活・サークルなど、学科学年の枠を越えた新しい仲間との出会いの充実	**48**	**52**	**50**	**50.0**
ボランティアや社会貢献活動で、自己成長を実感できるプログラムの充実	25	27	33	**28.3**
履修相談、生活相談、メンタルヘルス等の大学が提供するサポート制度の充実	27	30	31	**29.3**
動物とふれあう場の充実	**94**	**103**	98	**98.3**
大学運営に学生として意見提案できる場の充実	8	11	13	**10.7**
その他	0	0	0	**0**

●動物応用科学科においては「**動物とふれあう場の充実**」が3か年の平均で**74.2%**と高く、動物への関心が高い。
（2022年度69.6%、2021年度78.6%、2020年度74.2%）

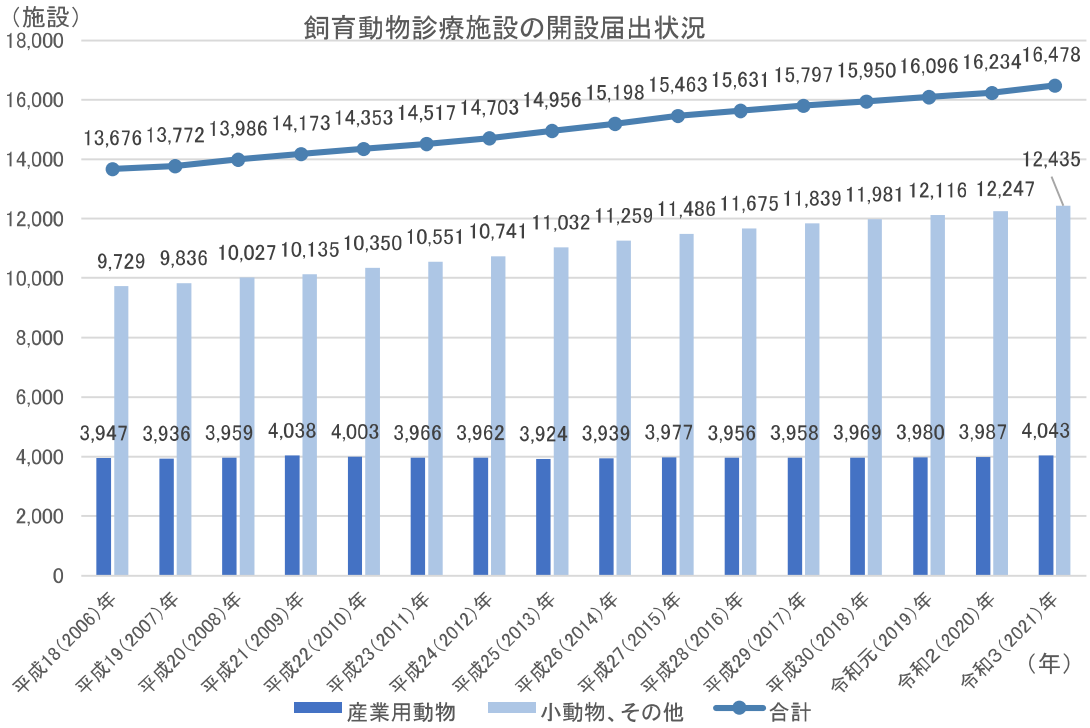
出典：令和2年度から4年度実施の「麻布大学入学者アンケート」から再作成

犬猫の飼育頭数の推移　　資料 2



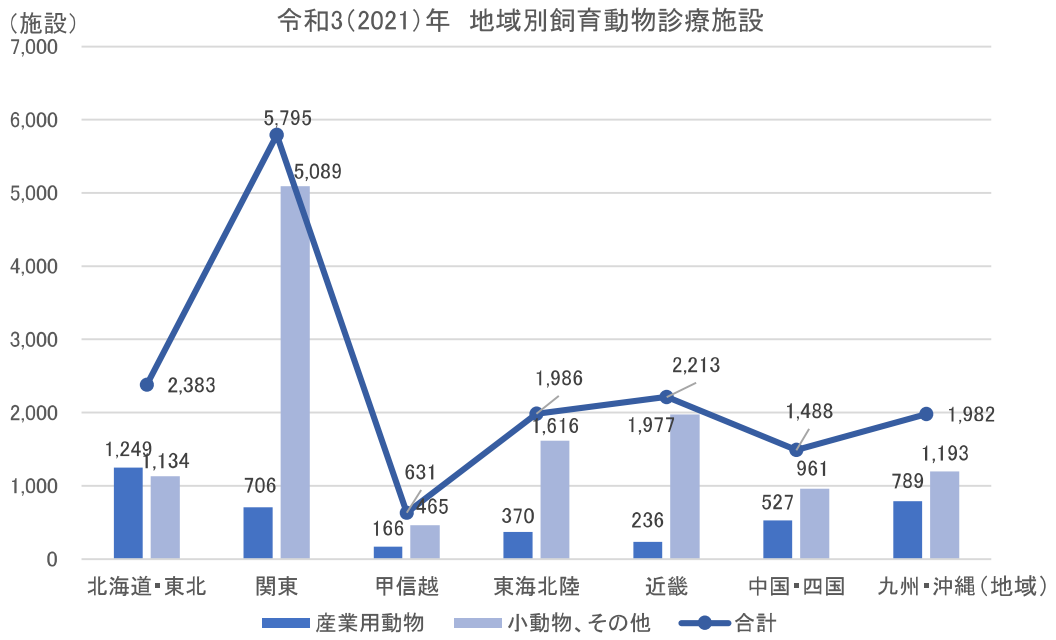
出典：2021 年（令和 3 年）全国犬猫飼育実態調査/一般社団法人ペットフード協会

資料 3



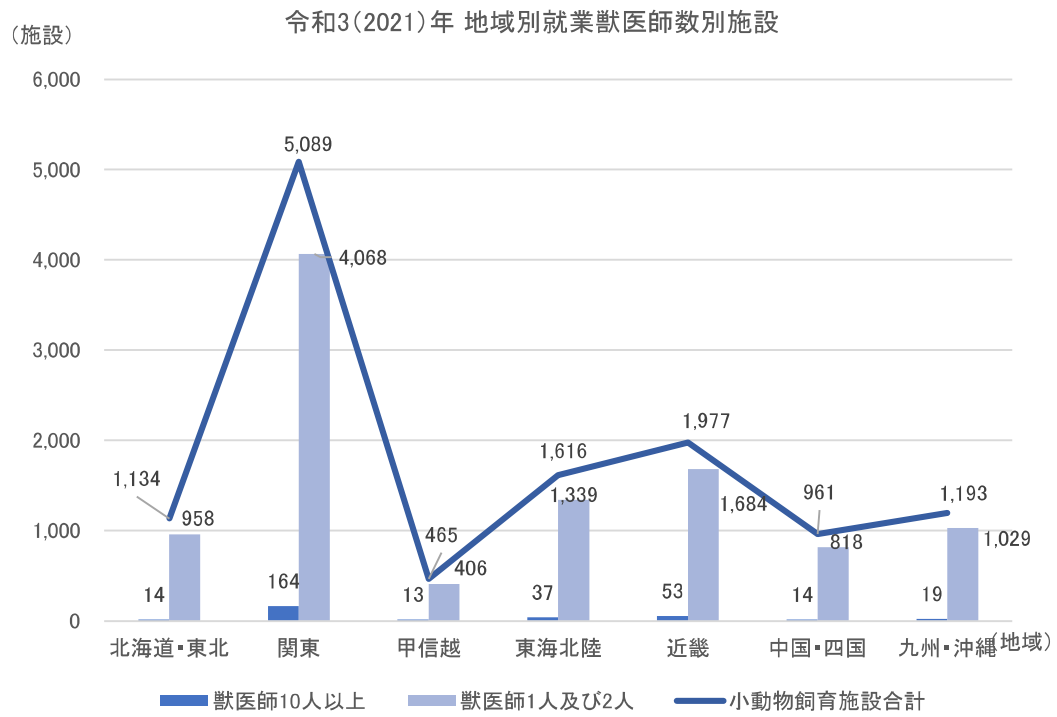
出典：飼育動物診療施設の推移/農林水産省ホームページから作成

資料 4



出典：飼育動物診療施設の推移/農林水産省ホームページから作成

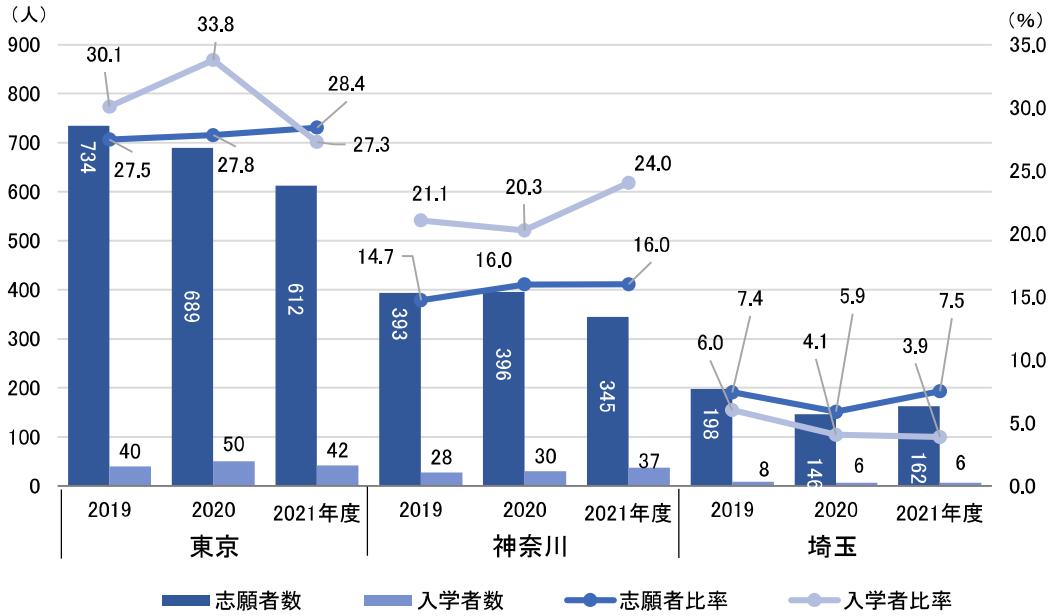
資料 5



出典：飼育動物診療施設の推移/農林水産省ホームページから作成

資料 6

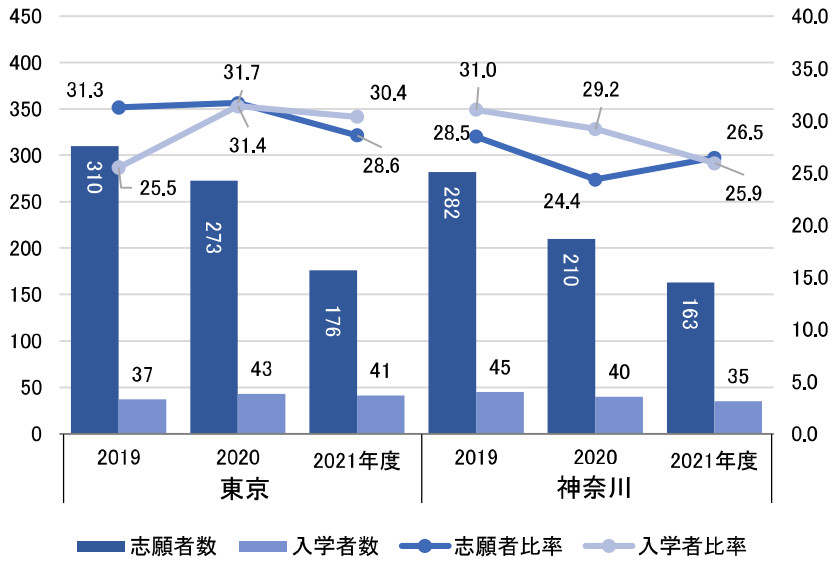
麻布大学獣医学部獣医学科 都道府県別志願者数・入学者数（東京都・神奈川県・埼玉県）



出典：麻布大学ファクトブック 2021 抜粋

資料 7

麻布大学獣医学部動物応用科学科 都道府県別志願者数・入学者数（東京都・神奈川県）



出典：麻布大学ファクトブック 2021 抜粋

資料 8

〔令和 3 年度　上位 5 都道府県　獣医学科〕

順位	都道府県	志願者数（人）	比率（%）	都道府県	入学者数（人）	比率（%）
1	東京都	176	28.6	東京都	41	30.4
2	神奈川県	163	26.5	神奈川県	35	25.9
3	★埼玉県	57	9.3	★埼玉県	12	8.9
4	千葉県	33	5.4	千葉県	6	4.4
5	静岡県	20	3.2	茨城県、静岡県	5	3.7

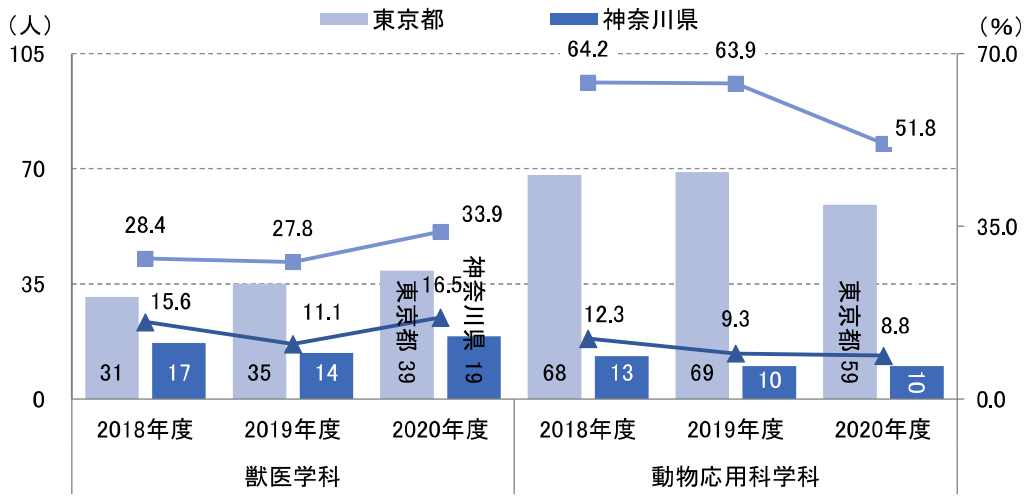
〔令和 3 年度　上位 5 都道府県　動物応用科学科〕

順位	都道府県	志願者数（人）	比率（%）	都道府県	入学者数（人）	比率（%）
1	東京都	612	28.4	東京都	42	27.3
2	神奈川県	345	16.0	神奈川県	37	24.0
3	★埼玉県	162	7.5	★愛知県	8	5.2
4	★愛知県	120	5.6	★埼玉県	6	3.9
5	千葉県	105	4.9	千葉県	6	3.9

出典：麻布大学ファクトブック 2021 抜粋

資料 9

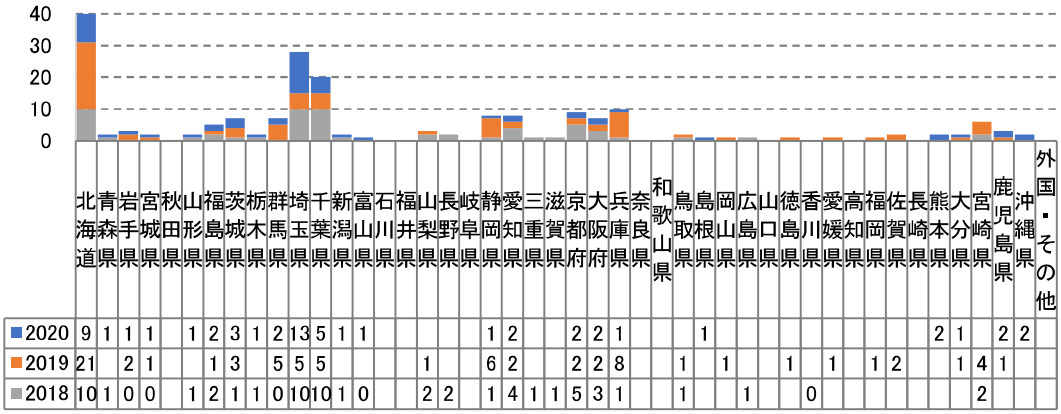
麻布大学獣医学部獣医学科　就職者数（東京都・神奈川県）



出典：麻布大学ファクトブック 2021 抜粋

資料 10

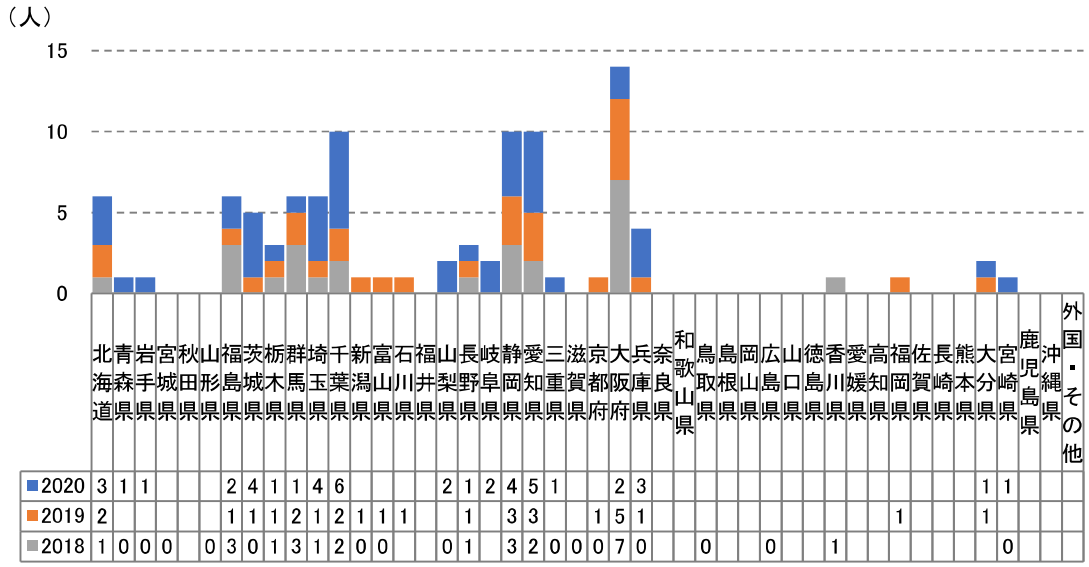
麻布大学獣医学部獣医学科　就職者数（東京都・神奈川県以外）



出典：麻布大学ファクトブック 2021 抜粋

資料 11

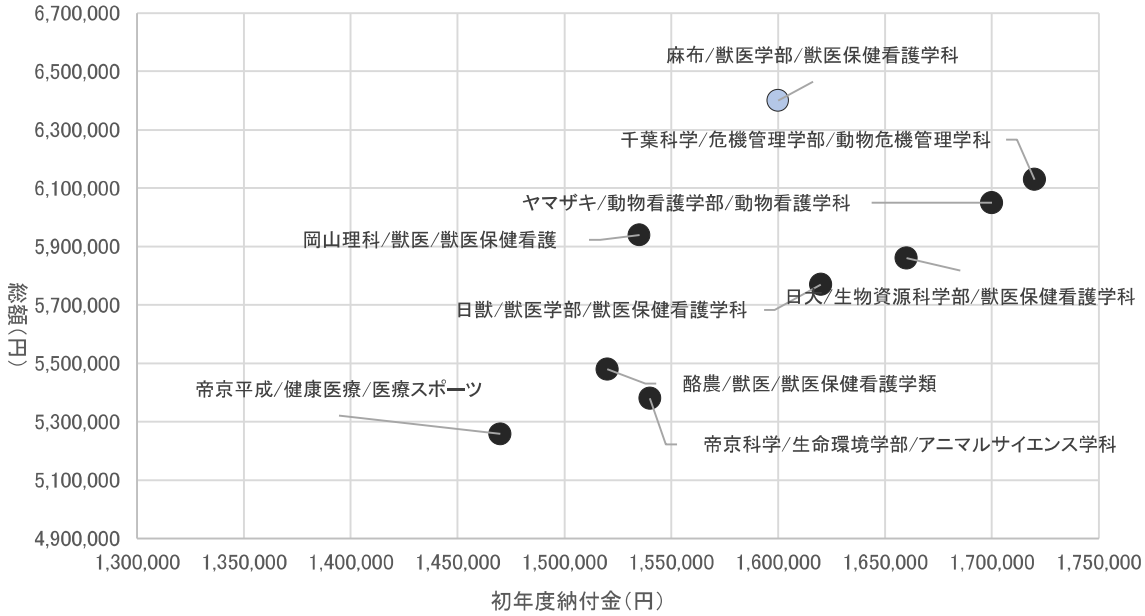
麻布大学獣医学部動物応用科学科 就職者数（東京都・神奈川県以外）



	北海道	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	茨城県	栃木県	群馬県	埼玉県	千葉県	新潟県	富山県	石川県	福井県	山梨県	長野県	岐阜県	静岡県	愛知県	三重県	滋賀県	京都府	大阪府	兵庫県	奈良県	和歌山県	鳥取県	島根県	岡山県	広島県	山口県	徳島県	香川県	愛媛県	高知県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	外国・その他
2020	3	1	1				2	4	1	1	4	6					2	1	2	4	5	1			2	3																1	1			
2019	2						1	1	1	2	1	2	1	1	1			1		3	3			1	5	1											1					1				
2018	1	0	0	0		0	3	0	1	3	1	2	0	0			0	1		3	2	0	0	0	7	0			0			0			1								0				

出典：麻布大学ファクトブック 2021 抜粋

競合校の学納金額　　資料 12



出典：各大学のホームページに掲載されている学納金額から作成

麻布大学
獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）
学生確保の見通し調査
【高校生アンケート調査】
報告書

令和 5 年 1 月 27 日

株式会社高等教育総合研究所

目次

１．　「高校生アンケート調査」概要　2

２．　「高校生アンケート調査」集計結果　3

３．　「高校生アンケート調査」集計結果のポイント　7

４．　「高校生アンケート調査」集計結果の分析　14

添付資料　16

麻布大学　獣医学部　獣医保健看護学科（仮称）
「リーフレット」
「概要説明プリント」
「高校生アンケート調査票」（アンケート用紙／Web アンケートフォーム）

１.「高校生アンケート調査」概要

調査目的	麻布大学が 2024（令和 6）年度に設置構想中の「獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）」（以下、当該学部学科と記す）における学生確保の見通しを第三者機関によりアンケート調査を用いて計ることを目的とする。
調査対象	2023（令和 5）年度に大学入試を受験する可能性が最も高い現高校 2 年生（2024 年 3 月卒業予定者）をアンケートの対象とした。当該学部学科の学生確保の基盤となる神奈川県および東京都、埼玉県、千葉県、静岡県を中心に通学利便性により周辺他県地域を含め、大学進学実績等も考慮して抽出した高校にアンケート調査実施を依頼し、111 校 12,131 件の回答を得た。
調査内容	● 問 1～3：回答者の基本情報（性別、居住地、在籍している学科） ● 問 4～5：高校卒業後の希望進路、興味のある学問分野 ● 問 6：当該学部学科の教育の特色に対する興味・関心 ● 問 7：当該学部学科への受験意欲 ● 問 8：当該学部学科への入学意欲 ● 問 9：当該学部学科を受験したいと思わない理由 ● 問 10：愛玩動物看護師資格の認知度 ● 問 11：卒業後に希望する就職先 以上、全 11 問で主に選択肢式。
調査時期	2022（令和 4）年 9 月～12 月
調査方法	アンケート調査実施の了承が得られた高校にアンケート用紙及び概要説明プリント（必要部数）を送付。教職員から調査対象者（現高校 2 年生）にアンケート調査用紙を配布し回答を得たほか、WEB 調査により回答を得た。
回収件数	有効回答数 12,131 件 （アンケート用紙：8,177 件、WEB 回答：3,954 件）

２.「高校生アンケート調査」集計結果

※「構成比(%)」はいずれも、少数点第二位を四捨五入。

問１　あなたの性別をお答えください。

No	選択項目	回答数	構成比
1	男性	5,294	43.6%
2	女性	6,298	51.9%
3	回答しない	443	3.7%
4	無回答	96	0.8%
合計		12,131	100.0%

問２　あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
北海道	23	0.2%	石川県	304	2.5%	岡山県	44	0.4%
青森県	4	0.0%	福井県	3	0.0%	広島県	15	0.1%
岩手県	0	0.0%	山梨県	13	0.1%	山口県	3	0.0%
宮城県	74	0.6%	長野県	85	0.7%	徳島県	1	0.0%
秋田県	299	2.5%	岐阜県	97	0.8%	香川県	98	0.8%
山形県	2	0.0%	静岡県	498	4.1%	愛媛県	2	0.0%
福島県	111	0.9%	愛知県	3	0.0%	高知県	29	0.2%
茨城県	226	1.9%	三重県	3	0.0%	福岡県	90	0.7%
栃木県	151	1.2%	滋賀県	3	0.0%	佐賀県	82	0.7%
群馬県	225	1.9%	京都府	2	0.0%	長崎県	4	0.0%
埼玉県	2036	16.8%	大阪府	67	0.6%	熊本県	7	0.1%
千葉県	760	6.3%	兵庫県	2	0.0%	大分県	49	0.4%
東京都	3385	27.9%	奈良県	3	0.0%	宮崎県	2	0.0%
神奈川県	3235	26.7%	和歌山県	48	0.4%	鹿児島県	4	0.0%
新潟県	1	0.0%	鳥取県	1	0.0%	沖縄県	10	0.1%
富山県	2	0.0%	島根県	2	0.0%	無回答	23	0.2%
合計							12,131	100.0%

問３　あなたは何学科に在籍していますか。

No	選択項目	回答数	構成比
1	普通科	11,148	91.9%
2	専門学科	594	4.9%
3	総合学科	83	0.7%
4	その他	229	1.9%
5	無回答	77	0.6%
合計		12,131	100.0%

問４　あなたは卒業後にどの進路を選択しようと考えていますか。

No	選択項目	回答数	構成比
1	大学	11,173	92.1%
2	短期大学	114	0.9%
3	専門学校	530	4.4%
4	就職	130	1.1%
5	その他	147	1.2%
6	無回答	37	0.3%
合計		12,131	100.0%

問５　あなたの興味ある学問分野を教えてください。（あてはまるものすべてにマークをしてください）

No	選択項目	回答数	回答率
1	農学（獣医保健看護学、獣医学、農学、林学、水産学など）	1,576	13.0%
2	人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語学など）	2,630	21.7%
3	社会科学（法学・政治学、商学・経済学、社会学など）	2,815	23.2%
4	理学（情報数理学、数学、物理学、コンピュータ科学など）	2,668	22.0%
5	工学（機械工学、電気通信工学など）	2,129	17.6%
6	保健（医学、歯学、薬学、看護学など）	2,883	23.8%
7	家政（家政学、食物学、被服学など）	694	5.7%
8	教育（教育学、児童学、保育学など）	1,703	14.0%
9	芸術（美術学、デザイン工学、音楽、建築学など）	1,694	14.0%
10	その他	620	5.1%

※問５は複数回答項目のため、回答数は延べ。各構成比＝回答数÷12,131 人

問 6　獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」には以下のような教育の特色があります。あなたが興味を持った内容について教えてください。（あてはまるものすべてにマークをしてください。）

No	選択項目	回答数	回答率
1	獣医学科と相互に連携しており、獣医診療の補助、動物看護、動物愛護及び動物の心身の健康と安全を守り、人に危害を加えたり迷惑をかけないよう適正に飼養することに関する知識と技術を深く学ぶことができる	3,875	31.9%
2	附属動物病院が併設されており、獣医療に関する技術や知識を実践的に学ぶことができる。また、公益財団法人日本動物病院協会と包括協定を締結し、質の高い学外実習場で学ぶことができる	3,264	26.9%
3	獣医学科・動物応用科学科との併設により、愛玩動物（犬・猫）に限らず多種多様な動物に関する専門知識や情報を活用して、学ぶことができる	3,737	30.8%
4	愛玩動物（犬・猫）の看護にとどまらず、動物と人の健康と福祉の増進、多種多様な動物との共生に貢献できる技術と知識を習得できる	4,242	35.0%
5	愛玩動物及び適正飼養の専門家として、動物愛護管理を担当する公務員、製薬企業等の動物実験施設、動物関連企業など、動物病院以外も含めた多様な進路が想定できる	2,453	20.2%

※問 6 は複数回答項目のため、回答数は延べ。各構成比＝回答数÷12,131 人

問 7　あなたは獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」を受験したいと思いますか。

No	選択項目	回答数	構成比
1	思う	814	6.7%
2	思わない	10,890	89.8%
3	無回答	427	3.5%
合計		12,131	100.0%

問 8 は、問 7 で「1. 思う」とした 814 人が回答対象である。

問 8　あなたが獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」を受験し、合格した場合の入学意欲について教えてください。

No	選択項目	回答数	構成比
1	入学したい	271	33.3%
2	併願校の結果によっては入学したい	536	65.8%
3	無回答	7	0.9%
合計		814	100.0%

問 9 は、問 7 で「2. 思わない」とした 10,890 人が回答対象である。

問 9　あなたが獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」を受験しない理由を教えてください。（あてはまるものすべてにマークをしてください。）

No	選択項目	回答数	回答率
1	興味・関心のある分野ではないから	9,016	86.0%
2	興味・関心のある分野だが、わからない点が多いから	1,088	10.0%
3	同じ分野の他大学への進学を希望しているから	212	1.9%
4	大学進学を考えていないから	259	2.4%
5	居住地から遠いから	322	3.0%
6	学費が高そうだから	714	6.6%
7	その他	219	2.0%

※問 9 は複数回答項目のため、回答数は延べ。各構成比＝回答数÷12,131 人（問 7 で 2 を選択した者）

問 10　あなたは愛玩動物看護師資格が国家資格となることを知っていますか。

No	選択項目	回答数	構成比
1	知っている	2,003	16.5%
2	知らない	9,637	79.4%
3	無回答	491	4.0%
合計		12,131	100.0%

問 11　あなたが獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」に入学し、卒業した場合どんな就職先を想定していますか。

No	選択項目	回答数	回答率
1	動物病院（地域の動物病院、大学附属動物病院など）	5,947	49.0%
2	動物関連企業	2,570	21.2%
3	一般企業	1,474	12.2%
4	公務員	814	6.7%
5	試験研究機関・動物実験施設	357	2.9%
6	その他（動物介在活動を支援する団体等）	588	4.8%

※問 11 は複数回答項目のため、回答数は延べ。各構成比＝回答数÷12,131 人

３．「高校生アンケート調査」集計結果のポイント

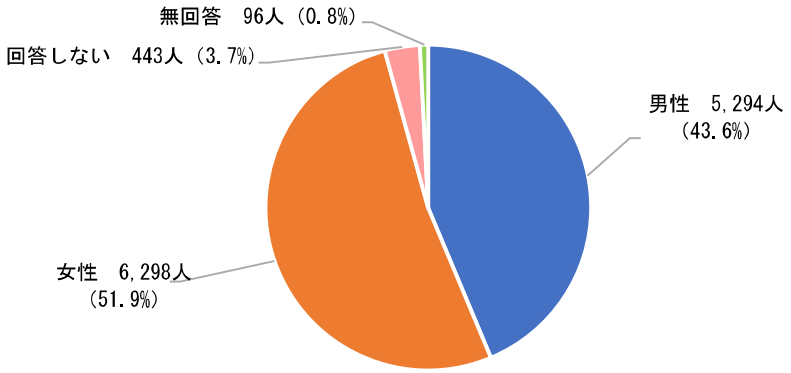
※「構成比(%)」はいずれも、少数点第二位を四捨五入。

● 回答者の居住地は東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、静岡県の合計で約８割を占める結果となった。

麻布大学が 2024（令和 6）年度に設置構想中の「獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）」に係る「高校生アンケート調査」における、有効回答 12,131 件の集計を行った。その結果、回答者の性別については、回答しないおよび無回答を除いて、「男性」が 5,294 人（43.6%）、「女性」が 6,298 人（51.9%）だった。回答者の居住地については、「東京都」が 3,385 人（27.9%）と最も多く、次いで当該学部学科の所在する「神奈川県」が 3,235 人（26.7%）、「埼玉県」が 2,036 人（16.8%）、「千葉県」が 760 人（6.3%）、「静岡県」が 498 人（4.1%）となり、この 5 都県の合計が 9,914 人で、全体の 81.7%と回答者の 8 割を占める結果となった。

また、在籍している学科については、回答の多い順に「普通科」が 11,148 人（91.9%）、「専門学科」が 594 人（4.9%）、「総合学科」が 83 人（0.7%）、「その他」が 229 人（1.9%）、無回答が 77 人（0.6%）であった。

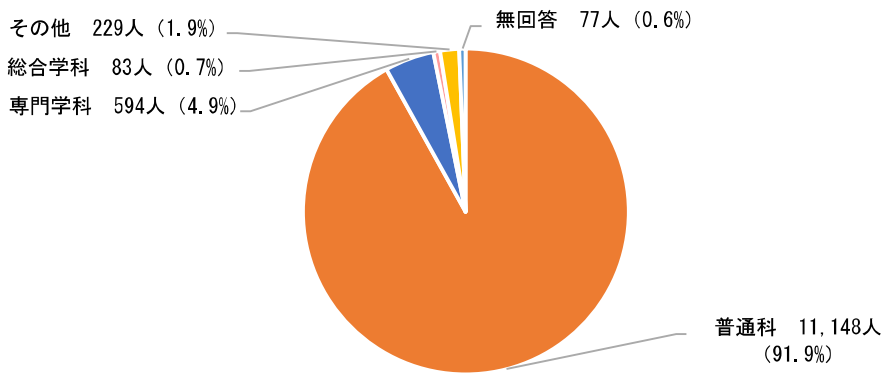
【グラフ】回答者の性別について＜問１の結果より＞



【表】回答者の居住地について＜問 2 の結果より＞

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
東京都	3,385	27.9%	宮城県	74	0.6%	三重県	3	0.0%
神奈川県	3,235	26.7%	大阪府	67	0.6%	滋賀県	3	0.0%
埼玉県	2,036	16.8%	大分県	49	0.4%	奈良県	3	0.0%
千葉県	760	6.3%	和歌山県	48	0.4%	山口県	3	0.0%
静岡県	498	4.1%	岡山県	44	0.4%	山形県	2	0.0%
石川県	304	2.5%	高知県	29	0.2%	富山県	2	0.0%
秋田県	299	2.5%	北海道	23	0.2%	京都府	2	0.0%
茨城県	226	1.9%	広島県	15	0.1%	兵庫県	2	0.0%
群馬県	225	1.9%	山梨県	13	0.1%	島根県	2	0.0%
栃木県	151	1.2%	沖縄県	10	0.1%	愛媛県	2	0.0%
福島県	111	0.9%	熊本県	7	0.1%	宮崎県	2	0.0%
香川県	98	0.8%	青森県	4	0.0%	新潟県	1	0.0%
岐阜県	97	0.8%	長崎県	4	0.0%	鳥取県	1	0.0%
福岡県	90	0.7%	鹿児島県	4	0.0%	徳島県	1	0.0%
長野県	85	0.7%	福井県	3	0.0%	岩手県	0	0.0%
佐賀県	82	0.7%	愛知県	3	0.6%	無回答	23	0.2%
合計							12,131	100.0%

【グラフ】在籍している学科について＜問 3 の結果より＞



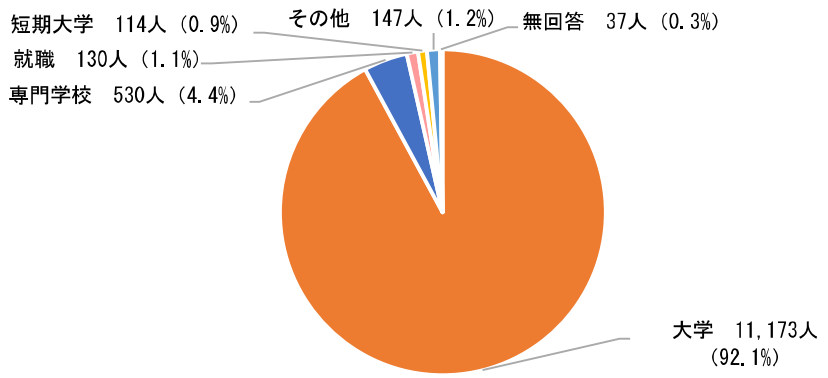
8

● 大学への進学希望が 9 割、当該学部学科の農学の分野に興味のある者は 1,576 人と全体の 13.0%の結果となり、多くの需要が示された

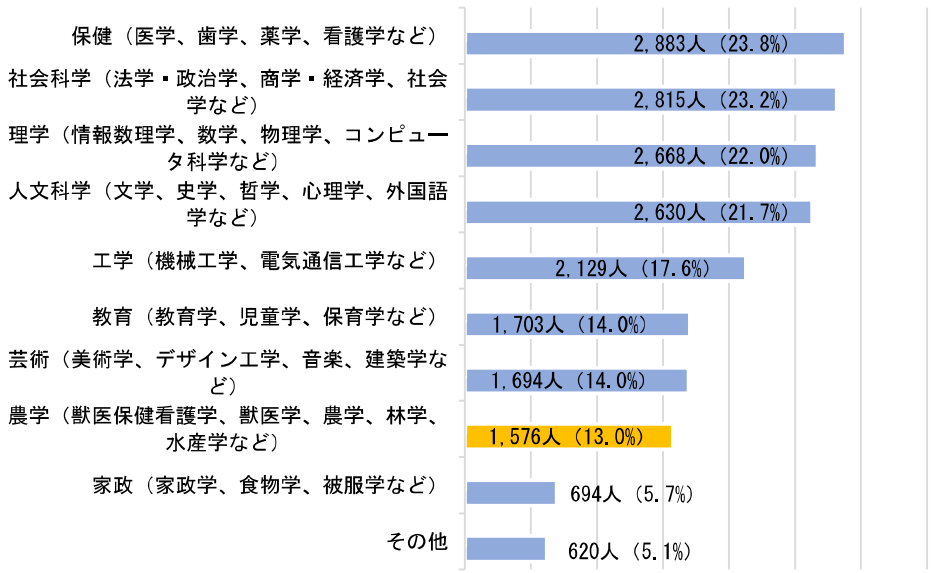
高校卒業後の希望進路については、「大学」への進学が 11,173 人（92.1%）で最も多く、次いで「専門学校」が 530 人（4.4%）、「就職」が 130 人（1.1%）、「短期大学」が 114 人（0.9%）、「その他」147 人（1.2%）であった。

興味のある学問分野については、当該学部学科の学問分野の農学（獣医保健看護学、獣医学、農学、林学、水産学など）については、1,576 人と全体の 13.0%となり、多くの者が興味を示す結果であった。

【グラフ】高校卒業後の希望進路について＜問 4 の結果より＞



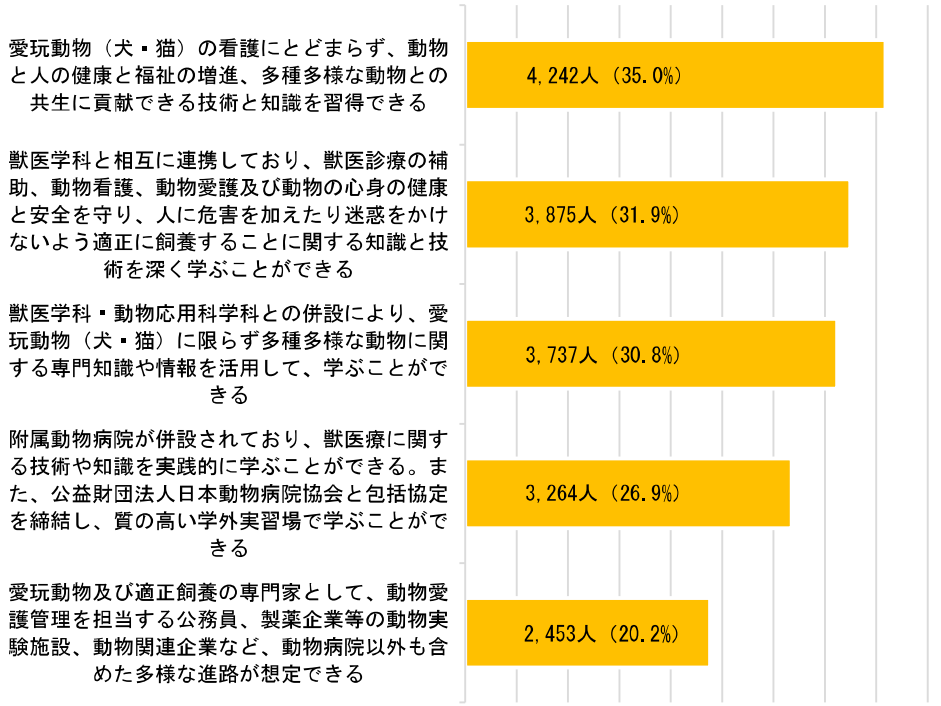
【グラフ】興味ある学問分野について＜問 5 の結果より＞



● 当該学部学科の教育の特色「動物と人の健康と福祉の増進、多種多様な動物との共生に貢献できる技術と知識を習得できる」に最も多く興味、関心が示された

当該学部学科の教育の特色に対する興味・関心については、「愛玩動物（犬・猫）の看護にとどまらず、動物と人の健康と福祉の増進、多種多様な動物との共生に貢献できる技術と知識を習得できる」が 4,242 人（35.0%）で最も多く、次いで「獣医学科と相互に連携しており、獣医診療の補助、動物看護、動物愛護及び動物の心身の健康と安全を守り、人に危害を加えたり迷惑をかけないよう適正に飼養することに関する知識と技術を深く学ぶことができる」が 3,875 人（31.9%）、「獣医学科・動物応用科学科との併設により、愛玩動物（犬・猫）に限らず多種多様な動物に関する専門知識や情報を活用して、学ぶことができる」が 3,737 人（30.8%）、「附属動物病院が併設されており、獣医療に関する技術や知識を実践的に学ぶことができる。また、公益財団法人日本動物病院協会と包括協定を締結し、質の高い学外実習場で学ぶことができる」が 3,264 人（26.9%）、「愛玩動物及び適正飼養の専門家として、動物愛護管理を担当する公務員、製薬企業等の動物実験施設、動物関連企業など、動物病院以外も含めた多様な進路が想定できる」が 2,453 人（20.2%）であった。

【グラフ】当該学部学科の教育の特色に対する興味・関心について＜問 6 の結果より＞

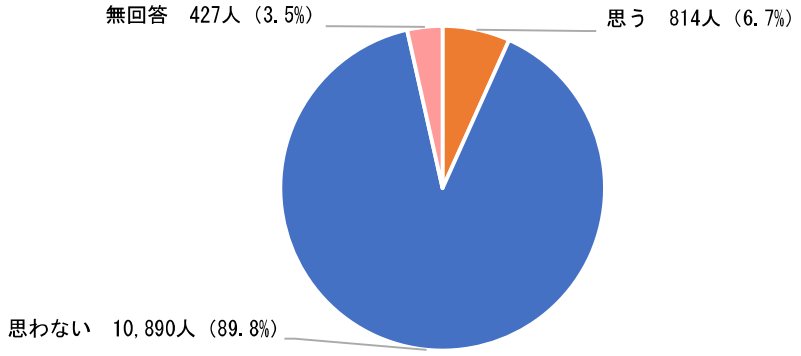


● 予定している入学定員 70 名を大きく上回る 271 人が入学意欲を示す

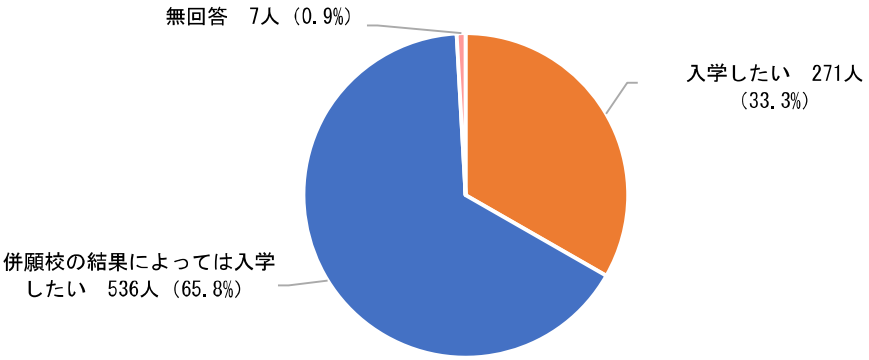
当該学部学科の概要を示し、受験・入学意欲について回答を求めた。その結果、814 人（6.7%）が当該学部学科を受験したいと「思う」と回答した。それら 814 人に入学意欲を問う設問において、強い入学意欲をもつと考えられる、合格した場合「入学したい」とする回答は 271 人（上記 814 人の 33.3%）であった。また、合格した場合「併願校の結果によっては入学したい」とする回答は 536 人（上記 814 人の 65.8%）となった。

当該学部学科の入学定員は 70 名であり、それを十分に上回る受験・入学意欲の回答を得た結果となった。

【グラフ】当該学部学科への受験意欲について＜問 7 の結果より＞



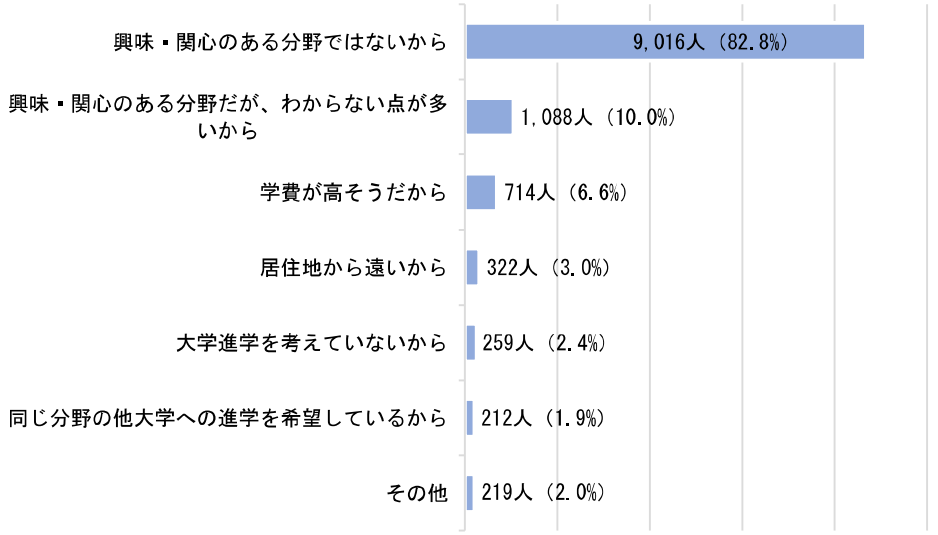
【グラフ】当該学部学科への入学意欲について＜問 8 の結果より＞



● 当該学部学科を受験したいと思わない理由については、「興味・関心のある分野ではないから」が 8 割

問 7 で受験したいと「思わない」と回答した 10,890 人に、当該学部学科を受験しない理由についてたずねた質問では、「興味・関心のある分野ではないから」が 9,016 人（82.8%）で最も多く、次いで「興味・関心のある分野だが、わからない点が多いから」が 1,088 人（10.0%）、「学費が高そうだから」が 714 人（6.6%）、「居住地から遠いから」が 322 人（3.0%）、「大学進学を考えていないから」が 259 人（2.4%）、「同じ分野の他大学への進学を希望しているから」が 212 人（1.9%）であった。

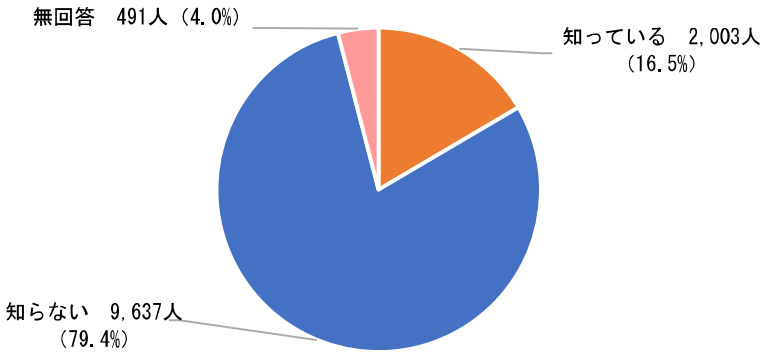
【グラフ】当該学部学科を受験したいと思わない理由について＜問 9 の結果より＞



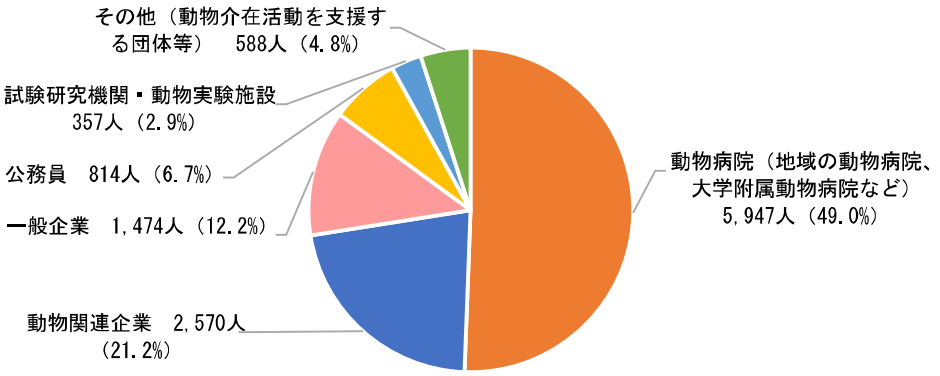
● 愛玩動物看護師資格が国家資格となることを知っている者が 16.7%

愛玩動物看護師資格が国家資格となることを知っているかについての質問では、知っているが 2,003 人（16.5%）、知らないが 9,637 人（79.4%）であった。また、当該学部学科を卒業した場合の就職先の想定についての質問では、動物病院（地域の動物病院、大学附属動物病院など）が 5,947 人（49.0%）で最も多く、次いで動物関連企業が 2,570 人（21.2%）、一般企業が 1,474 人（12.2%）、公務員が 814 人（6.7%）、試験研究機関・動物実験施設が 357 人（2.9%）、その他（動物介在活動を支援する団体等）が 588 人（4.8%）であった。

【グラフ】愛玩動物看護師資格が国家資格となることを知っているかについて
＜問 10 の結果より＞



【グラフ】当該学部学科を卒業した場合の就職先の想定について＜問 11 の結果より＞



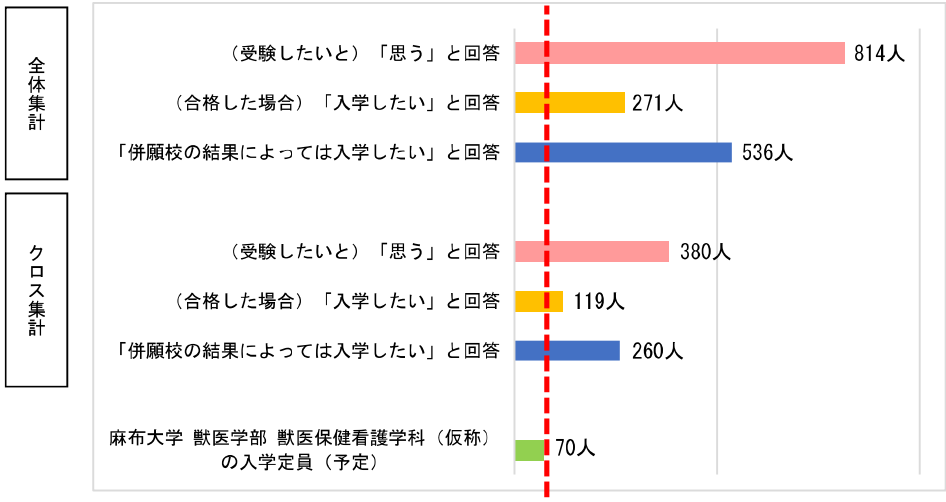
４．「高校生アンケート調査」集計結果の分析

当該学部学科への受験・入学意欲がある者の希望進路（問 4)、学問分野（問 5)、受験意欲（問 7)、入学意欲（問 8）のクロス集計結果は、以下の通りである。

【表】当該学部学科への受験・入学意欲について（クロス集計）

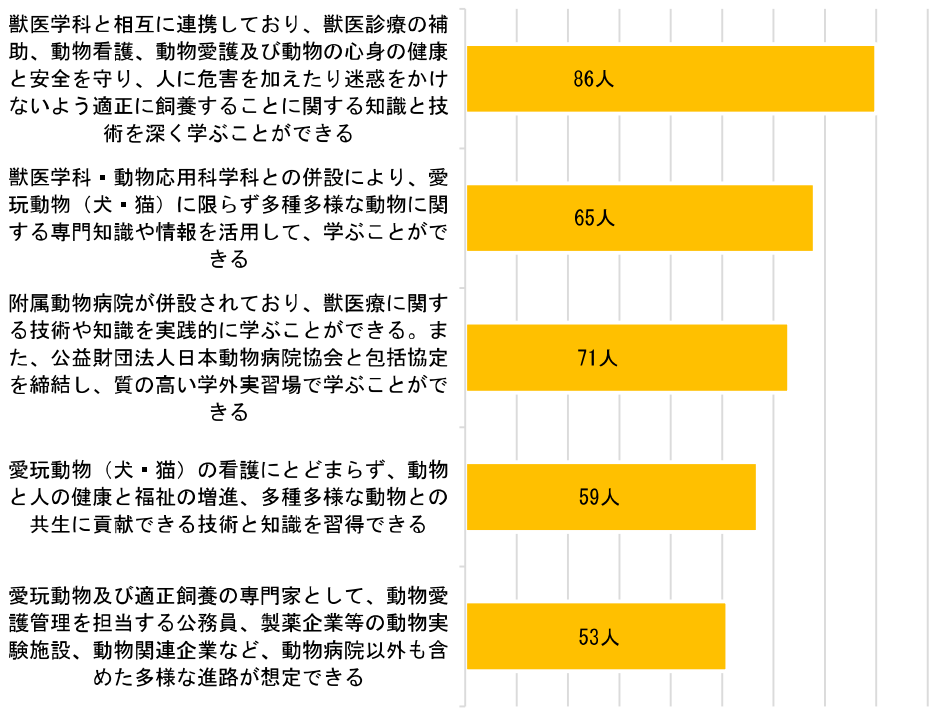
希望進路（問 4）		学問分野（問 5）		受験意欲（問 7）		入学意欲（問 8）	
選択項目	回答数	選択項目	回答数	選択項目	回答数	選択項目	回答数
大学	11,173	農学	1,397	（受験したいと）「思う」	380	（合格した場合）「入学したい」	119
						「併願校の結果によっては入学したい」	260
						無回答	1
		農学以外	9,776				
大学以外	958						

【グラフ】当該学部学科への受験・入学意欲について



また、希望進路を「大学」（問 4）、学問分野を「農学」（問 5）、受験意欲を「受験したいと思う（問 7）、入学意欲を「合格した場合、入学したい」（問 8）と回答した 119 人の当該学部学科の教育の特色に対する興味・関心について（問 6）の回答結果は、以下の通りであった。

【グラフ】当該学部学科の教育の特色に対する興味・関心について（クロス集計）



以上の結果より、麻布大学が 2024（令和 6）年 4 月に設置構想する「獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）」の学生確保の見通しは、全体では受験したいと思う回答した 814 人のうち、271 人が「合格した場合、入学したい」と示し、希望進路・学問分野のクロス集計結果では受験したいと回答した 380 人のうち、119 人が「合格した場合、入学したい」と強い入学意欲を示す回答であった。

これは、予定する入学定員の 70 名を大きく上回る回答結果であるため、当該学部学科の学生確保の見通しは問題なしと判断できる。

添付資料

麻布大学　獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）

「設置構想についての高校生アンケート調査」

「リーフレット」

「概要説明プリント」

「高校生アンケート調査票」（アンケート用紙／Web アンケートフォーム）

「高校生アンケート協力高等学校一覧」

【リーフレット 1/2】

NEW DEPARTMENT
START!!
獣医学部
獣医保健看護学科（仮称）
2024年4月
開設予定
特設サイト公開中！
設置構想中
※入試は2023年度実施（2024年4月入学）
※設置計画は予定であり、内容を変更する可能性があります
麻布大学
AZABU UNIVERSITY

【リーフレット 2/2】

生命を看つめ、生命を護る

全国で最長の130年以上におよぶ獣医学教育のノウハウを生かし、
患者（伴侶動物）に寄り添い、飼い主に信頼される
「獣医療チームの要（かなめ）＝愛玩動物看護師」を養成します。

POINT 1

伝統のチーム獣医診療

4年間、獣医学科の学生と同じ環境で学びます。獣医診療チームの一員として、飼い主の期待にこたえ、動物のアドボカシー*となりうる専門性と人間性を兼ね備えた人材を育成します。

アドボカシーとは？　自分の意思を伝えることができない動物にかわり、意思を伝えるものの意味

POINT 2

最先端の獣医療と実践教育

国内の獣医学系大学の動物病院としてはトップクラスの規模を誇り、最新の医療機器や分析機器を完備した獣医臨床センター（附属動物病院）で、高度な臨床経験をつむことができます。また、公益社団法人日本動物病院協会と包括協定を締結し、全国の動物病院での実習経験を提供します。

POINT 3

専門性＋αを培う幅広い学び

麻布大学の獣医保健看護学科の学びは、獣医診療にとどまりません。動物の行動特性や社会性、ヒトとの共生や相互作用など、幅広い学びにより、チーム獣医診療＋αを獲得できます。

POINT 4

学びを深める充実した施設

麻布大学には、附属動物病院はもちろん、産業動物臨床教育センター（LAVEC）、博物館など多様で充実した教育施設があります。

POINT 5

全国No.1の就職ネットワーク

麻布大学は、臨床獣医師輩出数が国内No.1という実績を誇っています。全国にいる麻布OB・OGの獣医師ネットワークを活用し、着実に動物病院に就職し活躍できるよう支援します。

愛玩動物看護師が国家資格になります！

麻布大学
AZABU UNIVERSITY

〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71
https://www.azabu-u.ac.jp/

獣医学部
- 獣医学科
- 動物応用科学科
- 獣医保健看護学科（仮称）

生命・環境科学部
- 臨床検査技術学科
- 食品生命科学科
- 環境科学科

TEL 042-769-2032
MAIL nyushi@azabu-u.ac.jp（入試広報課）

JR横浜線 矢部駅 下車
北口から 徒歩4分
※お車でのご来場はご遠慮ください。

LINEで最新情報をチェック！

【概要説明プリント】

麻布大学 獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）

Department of Veterinary Nursing and Health Science

2024年4月 開設予定 ※設置構想中

開設予定	修業年限	入学定員	学位名称
2024（令和6）年4月	4年	70名	学士（獣医保健看護学）

［養成する人材像］

全国で最長の130年以上におよぶ獣医学教育のノウハウを生かし、患者（愛玩動物・伴侶動物）に寄り添い、飼い主に信頼される「獣医療チームの要＝愛玩動物看護師」を養成

愛玩動物看護師として、動物愛護および適正飼養など、ヒトと動物の健康と福祉、QOLの向上にかかわる分野の科学的根拠に基づいた貢献ができ、さらにヒトと動物の生命と福祉および未来の共生社会に対して、社会的使命を遂行できる能力を持つ人材を養成します。

［獣医保健看護学科の特色］

1 獣医学科と相互に連携しており、獣医診療の補助、動物看護、動物愛護及び動物の心身の健康と安全を守り、人に危害を加えたり迷惑をかけないよう適正に飼養することに関する知識と技術を深く学ぶことができる。

2 附属動物病院が併設されており、獣医療に関する技術や知識を実践的に学ぶことができる。また、公益財団法人日本動物病院協会と包括協定を締結し、質の高い学外実習場で学ぶことができる。

3 獣医学科・動物応用科学科との併設により、愛玩動物（犬・猫）に限らず多種多様な動物に関する専門知識や情報を活用して、学ぶことができる。

4 愛玩動物（犬・猫）の看護にとどまらず、動物と人の健康と福祉の増進、多種多様な動物との共生に貢献できる技術と知識を習得できる。

5 愛玩動物及び適正飼養の専門家として、動物愛護管理を担当する公務員、製薬企業等の動物実験施設、動物関連企業など、動物病院以外も含めた多様な進路が想定できる。

［カリキュラム］

基礎動物学、基礎動物看護学、臨床動物看護学、愛護・適正飼養学などの科目を幅広く学ぶとともに、附属動物病院などで最先端の獣医療を実践的に学ぶことができます。

科目の例

基礎動物学	基礎動物看護学	臨床動物看護学	愛護・適正飼養学
動物形態機能学 / 生命倫理・動物福祉 / 動物行動学 / 比較動物学 / 動物栄養学 / 関連法規 / 動物繁殖学	動物看護学概論 / 動物感染症学 / 動物病理学 / 動物薬理学 / 公衆衛生学	動物内科看護学 / 動物外科看護学 / 動物臨床看護学 / 動物臨床検査学 / 動物医療コミュニケーション	愛玩動物学 / 人と動物の関係学 / 適正飼養指導論 / 動物生活環境学 / ペット関連産業概論

［想定される卒業後の進路］

- 愛玩動物看護師として動物病院への就職
- 動物愛護及び適正飼養の専門家として公務員
- 試験研究機関・動物実験施設
- 動物用医薬品を含む製薬企業
- 動物の栄養管理指導者／ペット用品・ペットショップ、ペット関連業界など動物関連企業の就職
- 大学院への進学

［取得可能な資格・免許］

- 愛玩動物看護師（国家試験受験資格）
- 食品衛生監視員（任用資格）

［初年度学納金（他大学を含む）］ 麻布大学獣医学部獣医保健看護学科（仮称）は予定。他は令和5年度入学者（ホームページ掲載情報より）。諸会費、教材費等は含まず。

大学	所在地	学部	学科	入学金	授業料 施設設備費等 実習費等	初年度納入金
麻布大学	神奈川県相模原市	獣医学部	獣医保健看護学科（仮称）	250,000円	1,500,000円	1,750,000円
日本獣医生命科学大学	東京都武蔵野市	獣医学部	獣医保健看護学科	250,000円	1,370,000円	1,620,000円
帝京科学大学	東京都足立区	生命環境学部	アニマルサイエンス学科	260,000円	1,280,000円	1,540,000円
ヤマザキ動物看護大学	東京都八王子市	動物看護学部	動物看護学科	250,000円	1,450,000円	1,700,000円

［東京都心・横浜からのアクセス］

※上記は構想中の概要であり、変更となる可能性があります。

【アンケート用紙 1/2】

麻布大学 獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）

高校生アンケート調査票

（対象：高校2年生の皆様）

麻布大学では、2024年4月に獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」の設置を構想しております。本学では、このアンケート調査を通して、2024年に進学時期を迎える皆様から、ご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えております。なお、回答いただいた皆様から得られた情報は、新学科の設置構想に関わる統計資料及び文部科学省への提出書類の一部としてのみ活用いたします。個人が特定されることはございません。つきましては、別紙の概要をご覧いただいた上で、アンケート調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。
※このアンケート調査は麻布大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
※リーフレット及びアンケートに記載されている新学科の内容については予定であり、変更される可能性がございます。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

正しい回答　誤った回答

・記入は必ずシャープペンシル、または黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
・解答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。
※正しい回答のように丁寧にマークしてください。誤った回答の場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。

問 1 あなたの性別をお答えください。

○ 男性　○ 女性　○ 回答しない

問 2 あなたのお住まいの都道府県をお答えください。

○ 北海道　○ 青森県　○ 岩手県　○ 宮城県　○ 秋田県　○ 山形県　○ 福島県
○ 茨城県　○ 栃木県　○ 群馬県　○ 埼玉県　○ 千葉県　○ 東京都　○ 神奈川県
○ 新潟県　○ 富山県　○ 石川県　○ 福井県　○ 山梨県　○ 長野県　○ 岐阜県
○ 静岡県　○ 愛知県　○ 三重県　○ 滋賀県　○ 京都府　○ 大阪府　○ 兵庫県
○ 奈良県　○ 和歌山県　○ 鳥取県　○ 島根県　○ 岡山県　○ 広島県　○ 山口県
○ 徳島県　○ 香川県　○ 愛媛県　○ 高知県　○ 福岡県　○ 佐賀県　○ 長崎県
○ 熊本県　○ 大分県　○ 宮崎県　○ 鹿児島県　○ 沖縄県

問 3 あなたは何学科に在籍していますか。

○ 普通科　○ 専門学科 [　　]　○ 総合学科　○ その他 [　　]

問 4 あなたは卒業後にどの進路を選択しようと考えていますか。

○ 大学　○ 短期大学　○ 専門学校　○ 就職　○ その他

問 5 あなたの興味ある学問分野を教えてください。（あてはまるものすべてにマークをしてください）

○ 農学（獣医保健看護学、獣医学、農学、林学、水産学など）　○ 人文科学（文学、史学、哲学、心理学、外国語学など）
○ 社会科学（法学・政治学、商学・経済学、社会学など）　○ 理学（情報数理学、数学、物理学、コンピュータ科学など）
○ 工学（機械工学、電気通信工学など）　○ 保健（医学、歯学、薬学、看護学など）　○ 家政（家政学、食物学、被服学など）
○ 教育（教育学、児童学、保育学など）　○ 芸術（美術学、デザイン工学、音楽、建築学など）　○ その他

1

本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。

【アンケート用紙 2/2】

問６ 獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」には以下のような教育の特色があります。あなたが興味を持った内容について教えてください。（あてはまるものすべてにマークをしてください。）

- ○ 獣医学科と相互に連携しており、獣医診療の補助、動物看護、動物愛護及び動物の心身の健康と安全を守り、人に危害を加えたり迷惑をかけないよう適正に飼養することに関する知識と技術を深く学ぶことができる
- ○ 附属動物病院が併設されており、獣医療に関する技術や知識を実践的に学ぶことができる。また、公益財団法人日本動物病院協会と包括協定を締結し、質の高い学外実習場で学ぶことができる
- ○ 獣医学科・動物応用科学科との併設により、愛玩動物（犬・猫）に限らず多種多様な動物に関する専門知識や情報を活用して、学ぶことができる
- ○ 愛玩動物（犬・猫）の看護にとどまらず、動物と人の健康と福祉の増進、多種多様な動物との共生に貢献できる技術と知識を習得できる
- ○ 愛玩動物及び適正飼養の専門家として、動物愛護管理を担当する公務員、製薬企業等の動物実験施設、動物関連企業など、動物病院以外も含めた多様な進路が想定できる

問７ あなたは獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」を受験したいと思いますか。

○ 思う（問８へすすんでください） ○ 思わない（問９にすすんでください）

問８は、問７で「思う」と回答した方のみ、お答えください。

問８ あなたが獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」を受験し、合格した場合の入学意欲について教えてください。

○ 入学したい ○ 併願校の結果によっては入学したい

問９は、問７で「思わない」と回答した方のみ、お答えください。

問９ あなたが獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」を受験しない理由を教えてください。（あてはまるものすべてにマークをしてください。）

○ 興味・関心のある分野ではないから ○ 興味・関心のある分野だが、わからない点が多いから

○ 同じ分野の他大学への進学を希望しているから ○ 大学進学を考えていないから ○ 居住地から遠いから ○ 学費が高そうだから

○ その他 [　　]

問 10 あなたは愛玩動物看護師資格が国家資格となることを知っていますか。

○ 知っている ○ 知らない

問 11 あなたが獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」に入学し、卒業した場合どんな就職先を想定していますか。

○ 動物病院（地域の動物病院、大学附属動物病院など） ○ 動物関連企業 ○ 一般企業

○ 公務員 ○ 試験研究機関・動物実験施設 ○ その他（動物介在活動を支援する団体等※）

※高齢者施設など各種福祉施設や病院、学校などを訪れ、動物との触れ合いによって、人に教育・社会的、情緒的な恩恵を与えながら、レクリエーション的な要素も併せ持つ活動。

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。

2

本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。

【Web アンケートフォーム 1/3】

【Web アンケートフォーム 2/3】

【Web アンケートフォーム 3/3】

麻布大学
獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）
高校生アンケート調査票
（対象：高校2年生の皆様）

4ページ目（全4ページ）

獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」には以下のような教育の特色があります。あなたが興味を持った内容について教えてください。（あてはまるものすべてにマークをしてください。） 必須

- [ ] 獣医学科と相互に連携しており、獣医診療の補助、動物看護、動物愛護及び動物の心身の健康と安全を守り、人に危害を加えたり迷惑をかけないよう適正に飼養することに関する知識と技術を深く学ぶことができる
- [ ] 附属動物病院が併設されており、獣医療に関する技術や知識を実践的に学ぶことができる。また、公益財団法人日本動物病院協会と包括協定を締結し、質の高い学外実習場で学ぶことができる
- [ ] 獣医学科・動物応用科学科との併設により、愛玩動物（犬・猫）に限らず多種多様な動物に関する専門知識や情報を活用して、学ぶことができる
- [ ] 愛玩動物（犬・猫）の看護にとどまらず、動物と人の健康と福祉の増進、多種多様な動物との共生に貢献できる技術と知識を習得できる
- [ ] 愛玩動物及び適正飼養の専門家として、動物愛護管理を担当する公務員、製薬企業等の動物実験施設、動物関連企業など、動物病院以外も含めた多様な進路が想定できる

あなたは獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」を受験したいと思いますか。 必須

○ 思う　○ 思わない

あなたは愛玩動物看護師資格が国家資格となることを知っていますか。 必須

選択してください

あなたが獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」に入学し、卒業した場合どんな就職先を想定していますか。 必須

選択してください

※高齢者施設など各種福祉施設や病院、学校などを訪れ、動物との触れ合いによって、人に教育・社会的、情緒的な恩恵を与えながら、レクリエーション的な要素も併せ持つ活動。

質問は以上です。送信ボタンを押してください。

送信

戻る

競合校の志願動向等　　資料 14

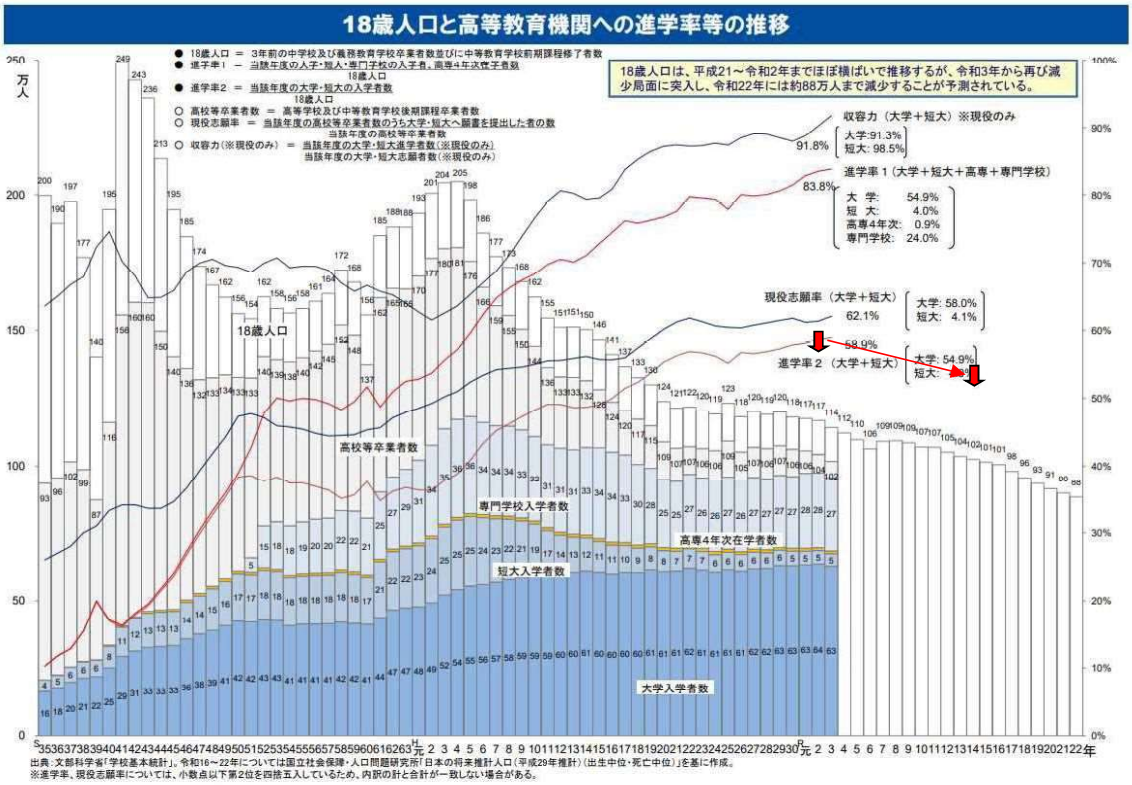
大学名	学部(学科名)	所在地	定員	令和4年度 志願者数	令和4年度 志願倍率	令和4年度 入学者	令和4年度 入学定員充足率	令和3年度 志願者数	令和3年度 入学者	令和3年度 入学定員充足率	令和2年度 志願者数	令和2年度 入学者	令和2年度 入学定員充足率
酪農学園	獣医(獣医保健看護)	北海道江別市	60	250	4.2	79	131.7	199	68	113.3	208	68	113.3
帝京科学	生命環境(アニマルサイエンス -動物看護福祉	東京都足立区	140	567	4.1	193	137.9	569	153	109.3	564	149	106.4
日本獣医生命科学	獣医(獣医保健看護)	東京都武蔵野市	100	708	7.1	100	100.0	683	100	100.0	704	100	100.0
ヤマザキ動物看護	動物看護(動物看護学科)	東京都八王子市	113	479	4.2	145	128.3	590	129	129.0	592	218	121.1
岡山理科	獣医(獣医保健看護)	愛媛県今治市	60	155	2.6	70	116.7	176	62	103.3	138	71	118.3

※ 志願者数は，全試験区分を合計したもの。

出典：各大学のホームページに掲載されている学納金額から作成

資料 15

18 歳人口の推移（文部科学省ホームページ）



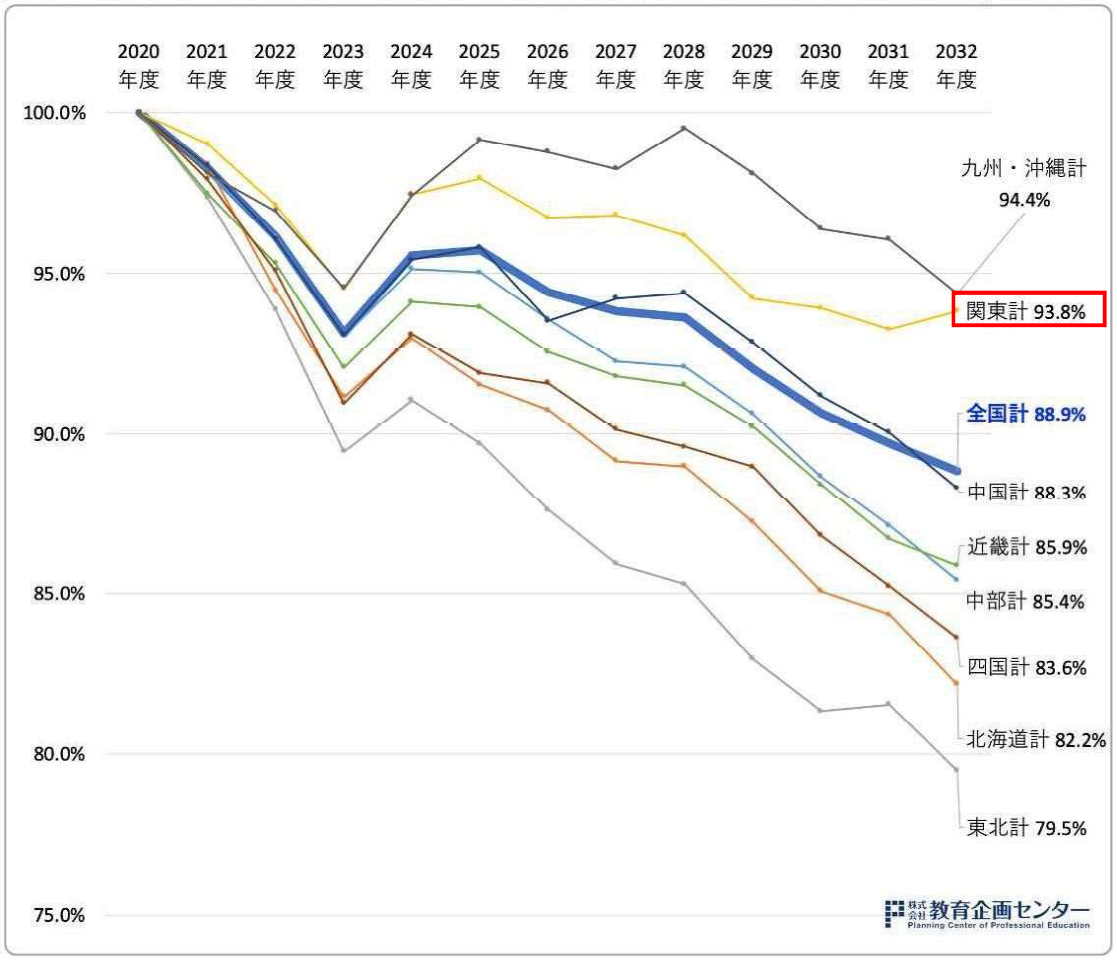
出典：令和 3 年度学校法人の運営等に関する協議会/学校法人の現状について/文部科学省ホームページ

地域別１８歳人口予測値推移

赤文字：全国計より3%以上低い

※2020年を100%とし、以降の増減を%で表示しています。

	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度	2030年度	2031年度	2032年度	2032-2020年度減少率
全国計	100.0%	98.3%	96.1%	93.1%	95.6%	95.7%	94.4%	93.8%	93.6%	92.0%	90.7%	89.7%	88.9%	-11.1%
北海道計	100.0%	98.4%	94.5%	91.2%	93.0%	91.5%	90.8%	89.2%	89.0%	87.2%	85.1%	84.4%	82.2%	-17.8%
東北計	100.0%	97.4%	93.9%	89.5%	91.1%	89.7%	87.6%	85.9%	85.3%	83.0%	81.3%	81.6%	79.5%	-20.5%
関東計	100.0%	99.0%	97.1%	94.5%	97.5%	98.0%	96.7%	96.8%	96.2%	94.2%	93.9%	93.3%	93.8%	-6.2%
中部計	100.0%	98.1%	96.1%	93.1%	95.2%	95.0%	93.6%	92.3%	92.1%	90.6%	88.7%	87.1%	85.4%	-14.6%
近畿計	100.0%	97.5%	95.3%	92.1%	94.1%	94.0%	92.5%	91.8%	91.5%	90.2%	88.4%	86.7%	85.9%	-14.1%
中国計	100.0%	98.3%	96.1%	93.1%	95.4%	95.8%	93.5%	94.2%	94.4%	92.9%	91.2%	90.0%	88.3%	-11.7%
四国計	100.0%	97.9%	95.1%	91.0%	93.1%	91.9%	91.6%	90.1%	89.6%	89.0%	86.8%	85.2%	83.6%	-16.4%
九州・沖縄計	100.0%	98.1%	96.9%	94.6%	97.4%	99.1%	98.8%	98.3%	99.5%	98.1%	96.4%	96.1%	94.4%	-5.6%



令和３年度および過去３年間の学校基本調査より算出・加工　／　今回より、高校３年生相当年齢の年度を１８歳人口年度と設定

© Planning Center of Professional Education. All rights reserved.

出典：株式会社教育企画センターホームページ

私立大学における系統別の入学者数

私立大学における系統別の入学者数（5年前との比較）

入学者数は「保健系」「その他」が実人数、比率ともに大きく増加した。一方、「歯学」「薬学」は１割以上の減少となった。

	医学	歯学	薬学	保健系	理・工学系	農学系	人文科学系	社会科学系	家政学	教育学	体育学	芸術系	その他	合計
R3学部数	31	17	60	254	162	25	245	526	83	104	11	56	304	1,878
R3入学定員充足率	**100.2%**	**75.6%**	**88.6%**	**100.0%**	**100.9%**	**96.4%**	**99.3%**	**101.6%**	**94.1%**	**94.4%**	**101.3%**	**104.8%**	**99.5%**	**99.8%**
H28入学定員充足率	101.0%	85.7%	98.8%	104.1%	105.8%	112.0%	105.0%	105.6%	99.2%	102.4%	110.1%	97.5%	103.6%	104.4%
R3志願者数	**98,563**	**7,564**	**73,580**	**188,155**	**751,179**	**78,039**	**520,901**	**1,379,159**	**60,407**	**100,983**	**12,680**	**53,220**	**510,432**	**3,834,862**
系統別割合	**2.6%**	**0.2%**	**1.9%**	**4.9%**	**19.6%**	**2.0%**	**13.6%**	**36.0%**	**1.6%**	**2.6%**	**0.3%**	**1.4%**	**13.3%**	**100.0%**
H28志願者数	98,562	7,563	73,579	188,154	751,178	78,038	520,900	1,379,158	60,406	100,982	12,679	53,219	510,431	3,834,861
系統別割合	2.6%	0.2%	1.9%	4.9%	19.6%	2.0%	13.6%	36.0%	1.6%	2.6%	0.3%	1.4%	13.3%	100.0%
R3入学者数	**4,099**	**1,528**	**10,191**	**39,130**	**63,192**	**8,717**	**67,710**	**174,183**	**15,183**	**16,834**	**5,106**	**14,744**	**74,596**	**494,213**
系統別割合	**0.8%**	**0.3%**	**2.1%**	**7.7%**	**12.8%**	**1.8%**	**13.7%**	**35.2%**	**3.1%**	**3.4%**	**1.0%**	**3.0%**	**15.1%**	**100.0%**
H28入学者数	3,865	1,768	11,420	31,585	62,536	8,416	73,092	174,262	16,252	16,276	5,401	13,879	69,458	488,210
系統別割合	0.8%	0.4%	2.3%	6.5%	12.8%	1.7%	15.0%	35.7%	3.3%	3.3%	1.1%	2.8%	14.2%	100.0%
28年度比	**106.1%**	**86.4%**	**89.2%**	**120.7%**	**101.0%**	**103.6%**	**92.6%**	**100.0%**	**93.4%**	**103.4%**	**94.5%**	**106.2%**	**107.4%**	**101.2%**

9

日本私立学校振興・共済事業団「私立大学・短期大学等 入学志願動向」より作成

出典：令和 3 年度学校法人の運営等に関する協議会/学校法人の現状について/文部科学省ホームページ

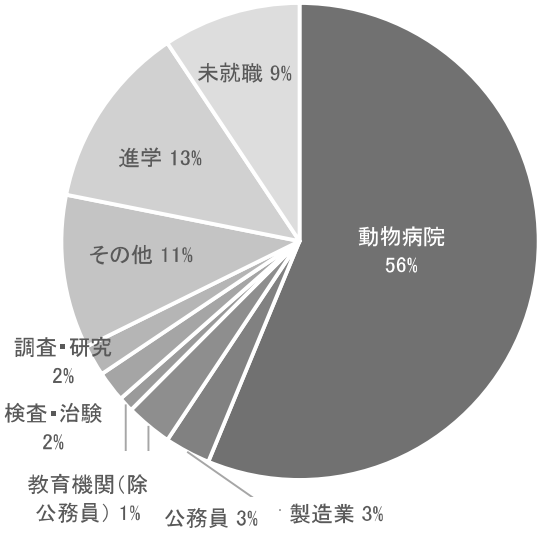
麻布大学入学志願状況等について　　資料18

				平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
獣医学部	獣医学科	延べ人数	志願者数	2879	2671	2476	2154	2145
			受験者数	2689	2453	2257	1966	1964
			合格者数	326	281	357	382	388
			入学者数	145	133	148	154	146
		入学定員		120	120	120	120	120
		入学定員充足率		1.21	1.11	1.23	1.28	1.22
		在籍学生数		877	867	867	882	877
		収容定員充足率		1.22	1.20	1.20	1.23	1.22
		平均入学定員超過率(5年間)		1.21				
	動物応用科学科	延べ人数	志願者数	1069	991	861	616	768
			受験者数	1012	944	811	581	730
			合格者数	453	371	417	500	576
			入学者数	144	145	137	135	153
		入学定員		130	130	130	130	130
		入学定員充足率		1.11	1.12	1.05	1.04	1.18
		在籍学生数		591	588	576	542	551
		収容定員充足率		1.18	1.15	1.11	1.04	1.06
		平均入学定員超過率(5年間)		1.10				
生命・環境科学部	臨床検査技術学科	延べ人数	志願者数	657	626	571	479	460
			受験者数	627	594	544	457	435
			合格者数	227	221	250	298	304
			入学者数	97	92	97	99	99
		入学定員		80	80	80	80	80
		入学定員充足率		1.21	1.15	1.21	1.24	1.24
		在籍学生数		384	377	382	385	382
		収容定員充足率		1.20	1.18	1.19	1.20	1.19
		平均入学定員超過率(5年間)		1.21				
	食品生命科学科	延べ人数	志願者数	668	598	378	360	322
			受験者数	645	565	353	347	303
			合格者数	374	320	332	332	289
			入学者数	96	78	74	57	49
		入学定員		80	80	80	80	80
		入学定員充足率		1.20	0.98	0.93	0.71	0.61
		在籍学生数		367	349	334	300	253
		収容定員充足率		1.15	1.09	1.04	0.94	0.79
		平均入学定員超過率(5年間)		0.89				
	環境科学科	延べ人数	志願者数	403	506	441	327	421
			受験者数	377	479	410	308	393
			合格者数	326	313	377	291	346
			入学者数	85	87	83	60	77
		入学定員		80	80	80	80	80
		入学定員充足率		1.06	1.09	1.04	0.75	0.96
		在籍学生数		340	334	333	302	289
		収容定員充足率		1.06	1.04	1.04	0.94	0.90
		平均入学定員超過率(5年間)		0.98				

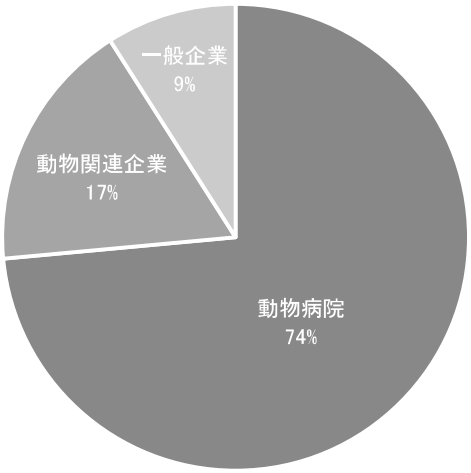
※ 延べ人数は一つの学科において受験方式や日程等の併願を含む数

競合校の業種別就職先状況（令和３年度）　　資料 19

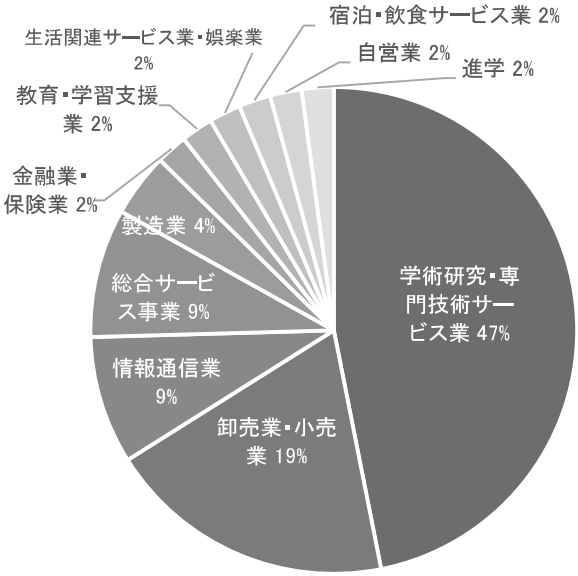
日本獣医生命科学大学　獣医保健看護学科
就職先



ヤマザキ動物看護大学　動物看護学部動物看護学科
就職先



酪農学園大学　獣医保健看護学類　就職先



麻布大学
獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）
人材需要アンケート調査
【設置構想に係る人材需要アンケート調査】
報告書

令和５年１月 27 日

株式会社高等教育総合研究所

目次

１．　「設置構想に係る人材需要アンケート調査」概要　2

２．　「設置構想に係る人材需要アンケート調査」集計結果　3

３．　「設置構想に係る人材需要アンケート調査」集計結果のポイント　6

４．　「設置構想に係る人材需要アンケート調査」集計結果の分析　11

添付資料　13

麻布大学 獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）
「リーフレット」
「概要説明プリント」
「人材需要アンケート調査票」（アンケート用紙／Web アンケートフォーム）

１.「設置構想に係る人材需要アンケート調査」概要

調査目的	麻布大学が 2024（令和 6）年度に設置構想中の「獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）」（以下、当該学部学科と記す）における人材需要の見通しを第三者機関によりアンケート調査を用いて計ることを目的とする。
調査対象	当該学部学科の卒業生の採用が期待される神奈川県および東京都を中心とした動物病院及び企業の計 1,554 件を対象とした。
調査内容	● 問 1～3：回答企業の基本情報（本社所在地、業種、従業員数） ● 問 4：当該学部学科に対する社会的ニーズ ● 問 5：当該学部学科の卒業生に対する採用の意向 ● 問 6：採用したい理由 ● 問 7：採用可能人数 ● 問 8：採用したいと思わない理由 ● 問 9：当該学部学科に対する期待 以上、全 9 問で主に選択肢式。 （問 10 は、回答企業・機関の名称を尋ねる任意の質問である為、省略する）
調査時期	2022（令和 4）年 9 月～11 月
調査方法	調査対象先の人事・採用担当者宛に、依頼状、アンケート調査用紙 1 部、リーフレット、概要説明プリント、返送用封筒を送付した。ご協力いただける場合は、WEB 調査またはアンケート調査用紙により回答いただいた。
回収件数	有効回答数 301 件（アンケート用紙：171 件、WEB 回答：130 件） 配布 1,554 件に対し、回収率 19.4%

２.「設置構想に係る人材需要アンケート調査」集計結果

※「構成比(%)」はいずれも、少数点第二位を四捨五入。

問１　貴社・貴施設の本社（本部）所在地についてお教えください。

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
北海道	7	2.3%	石川県	0	0.0%	岡山県	1	0.3%
青森県	1	0.3%	福井県	0	0.0%	広島県	1	0.3%
岩手県	1	0.3%	山梨県	2	0.7%	山口県	0	0.0%
宮城県	0	0.0%	長野県	3	1.0%	徳島県	0	0.0%
秋田県	0	0.0%	岐阜県	1	0.3%	香川県	0	0.0%
山形県	0	0.0%	静岡県	8	2.7%	愛媛県	1	0.3%
福島県	2	0.7%	愛知県	3	1.0%	高知県	0	0.0%
茨城県	1	0.3%	三重県	2	0.7%	福岡県	1	0.3%
栃木県	3	1.0%	滋賀県	2	0.7%	佐賀県	0	0.0%
群馬県	4	1.3%	京都府	5	1.7%	長崎県	0	0.0%
埼玉県	31	10.3%	大阪府	2	0.7%	熊本県	0	0.0%
千葉県	8	2.7%	兵庫県	4	1.3%	大分県	0	0.0%
東京都	128	42.5%	奈良県	0	0.0%	宮崎県	1	0.3%
神奈川県	70	23.3%	和歌山県	0	0.0%	鹿児島県	3	1.0%
新潟県	3	1.0%	鳥取県	0	0.0%	沖縄県	2	0.7%
富山県	0	0.0%	島根県	0	0.0%			
合計							301	100.0%

問２　貴社・貴施設の業種について、ご回答ください。

No	選択項目	回答数	構成比
1	動物医療分野	244	81.1%
2	バイオメディカル分野（医薬品製造・販売等）	10	3.3%
3	食品分野（食品製造・販売等）	14	4.7%
4	その他動物関連分野	33	11.0%
合計		301	100.0%

問３　貴社・貴施設の従業員数について、ご回答ください。

No	選択項目	回答数	構成比
1	1～10 名未満	141	46.8%
2	10 名～20 名未満	42	14.0%
3	20 名～30 名未満	16	5.3%
4	30 名～40 名未満	11	3.7%
5	40 名～50 名未満	11	3.7%
6	50 名～100 名未満	24	8.0%
7	100 名～500 名未満	29	9.6%
8	500 名～1,000 名未満	16	5.3%
9	1,000 名以上	11	3.7%
合計		301	100.0%

問４　貴社・貴施設は、獣医学部「獣医保健学科（仮称）」は、社会的ニーズが高いと思われますか。

No	選択項目	回答数	構成比
1	ニーズは極めて高い	90	29.9%
2	ニーズはある程度高い	165	54.8%
3	ニーズはあまり高くない	35	11.6%
4	ニーズは高くない	9	3.0%
5	無回答	2	0.7%
合計		301	100.0%

問５　貴社・貴施設は、獣医学部「獣医保健学科（仮称）」を卒業した学生について、採用したいと思われますか。

No	選択項目	回答数	構成比
1	採用したいと思う	249	82.7%
2	採用したいと思わない	30	10.0%
3	無回答	22	7.3%
合計		301	100.0%

問６・７は、問５で「採用したいと思う」と回答した方のみ、お答えください。

問６　貴社・貴施設で採用したいと考えられた理由は何でしょうか。

No	選択項目	回答数	構成比
1	愛玩動物看護師資格を持つ卒業生が必要だから	131	52.6%
2	愛玩動物看護師資格を持つ卒業生は幅広い知識を持っているから	107	43.0%
3	愛玩動物看護師資格は飼い主の気持ちをよく理解しているから	8	3.2%
4	無回答	3	1.2%
合計		249	100.0%

問７　採用する場合の採用可能人数をお教えください。

No	選択項目	回答数	構成比
1	１人	68	27.3%
2	２人	55	22.1%
3	３人	18	7.2%
4	４人	4	1.6%
5	５人以上	17	6.8%
6	人数は未定	85	34.1%
7	無回答	2	0.8%
合計		249	100.0%

問８は、問５で「採用したいと思わない」と回答した方のみ、お答えください。

問８　問５において「採用したいと思わない」と回答したことについて、理由を教えてください。

No	選択項目	回答数	構成比
1	他大学を卒業した愛玩動物看護師資格を持つ者を採用したいため	2	6.7%
2	業種の特性上、愛玩動物看護師の資格を有しなくてもよいため	26	86.7%
3	無回答	2	6.7%
合計		30	100.0%

問９　獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」の教育に対して、もっとも期待される点は何でしょうか。

No	選択項目	回答数	構成比
1	動物に対する愛情と倫理観を身につける	29	9.6%
2	幅広い知識を身につける	81	26.9%
3	数多の実習を経験している	53	17.6%
4	教養教育を多く学ぶこと	19	6.3%
5	高いコミュニケーション能力をもつこと	74	24.6%
6	その他	8	2.7%
7	無回答	37	12.3%
合計		301	100.0%

３．「設置構想に係る人材需要アンケート調査」集計結果のポイント

※「構成比(%)」はいずれも、少数点第二位を四捨五入。

● 神奈川県および東京都を本社所在地とする企業の合計が、65. 8%となった。

麻布大学が 2024（令和 6）年度に設置構想中の「獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）」に係る「設置構想に係る人材需要アンケート調査」において、有効回答 301 件の集計を行った。

その結果、本社所在地の内訳は、東京都 128 件（42.5%）、神奈川県 70 件（23.3%）、埼玉県 31 件（10.3%）、千葉県、静岡県が 8 件（2.7%）、北海道 7 件（2.3%）、京都府 5 件（1.7%）、群馬県、兵庫県が 4 件（1.3%）、栃木県、新潟県、長野県、愛知県、鹿児島県が 3 件（1.0%）、福島県、山梨県、三重県、滋賀県、大阪府、沖縄県が 2 件（0.7%）、青森県、岩手県、茨城県、岐阜県、岡山県、広島県、愛媛県、福岡県、宮崎県が 1 件（0.3%）となった。

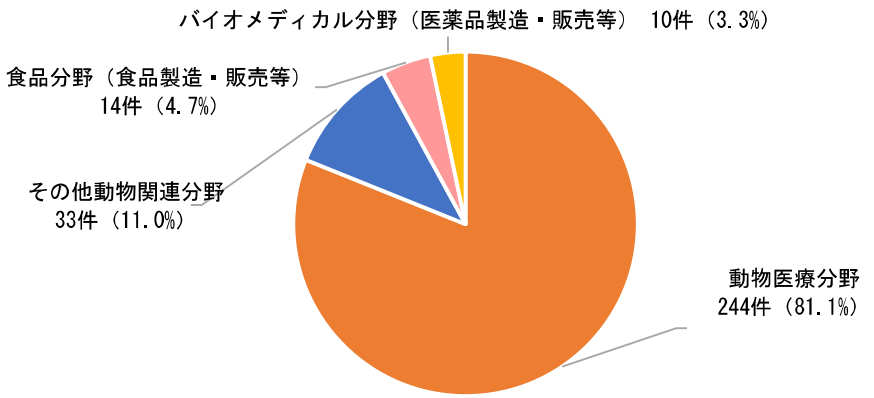
表　　回答企業の本社所在地について＜問１の結果より＞

選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比	選択項目	回答数	構成比
東京都	128	42.5%	三重県	2	0.7%	富山県	0	0.0%
神奈川県	70	23.3%	滋賀県	2	0.7%	石川県	0	0.0%
埼玉県	31	10.3%	大阪府	2	0.7%	福井県	0	0.0%
千葉県	8	2.7%	沖縄県	2	0.7%	奈良県	0	0.0%
静岡県	8	2.7%	青森県	1	0.3%	和歌山県	0	0.0%
北海道	7	2.3%	岩手県	1	0.3%	鳥取県	0	0.0%
京都府	5	1.7%	茨城県	1	0.3%	島根県	0	0.0%
群馬県	4	1.3%	岐阜県	1	0.3%	山口県	0	0.0%
兵庫県	4	1.3%	岡山県	1	0.3%	徳島県	0	0.0%
栃木県	3	1.0%	広島県	1	0.3%	香川県	0	0.0%
新潟県	3	1.0%	愛媛県	1	0.3%	高知県	0	0.0%
長野県	3	1.0%	福岡県	1	0.3%	佐賀県	0	0.0%
愛知県	3	1.0%	宮崎県	1	0.3%	長崎県	0	0.0%
鹿児島県	3	1.0%	宮城県	0	0.0%	熊本県	0	0.0%
福島県	2	0.7%	秋田県	0	0.0%	大分県	0	0.0%
山梨県	2	0.7%	山形県	0	0.0%	無回答	0	0.0%
合計							301	100.0%

● 回答企業の業種は動物医療分野が、全体の 8 割を占めた。

企業の業種については、動物医療分野が 244 件（81.1%）、その他動物関連分野が 33 件（11.0%）、食品分野（食品製造・販売等）が 14 件（4.7%）、バイオメディカル分野（医薬品製造・販売等）が 10 件（3.3%）の順となった。

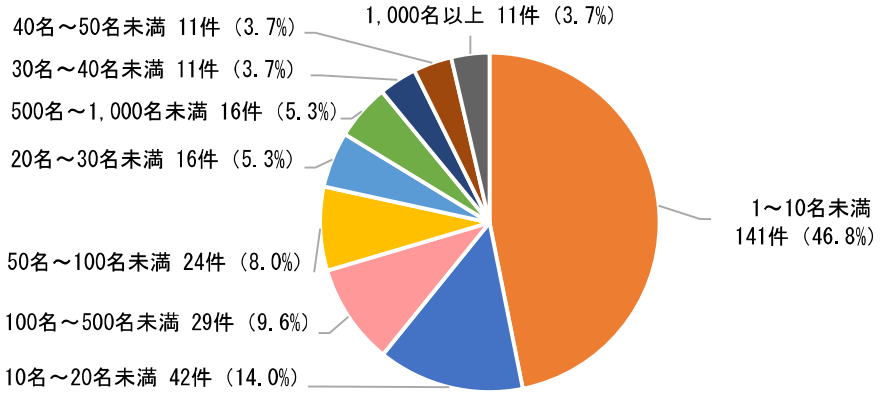
【グラフ】回答企業の業種について＜問 2 の結果より＞



● 従業員数の規模「 1～10 名未満 」の企業が 46.8%となった。

企業の従業員数については、1～10 名未満が 141 件（46.8%）と最も多く、次いで 10 名～20 名未満が 42 件（14.0%）、100 名～500 名未満が 29 件（9.6%）、50 名～100 名未満が 24 件（8.0%）、20 名～30 名未満、500 名～1,000 名未満が 16 件（5.3%）、30 名～40 名未満、40 名～50 名未満、1,000 名以上が 11 件（3.7%）の順となった。

【グラフ】回答企業の従業員数について＜問 3 の結果より＞

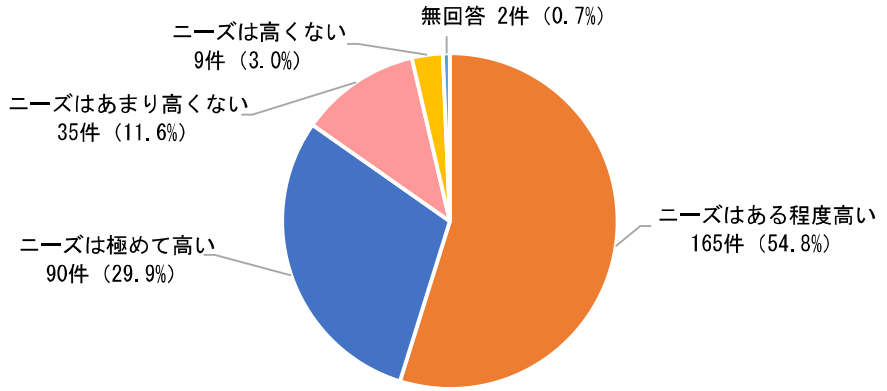


● ニーズは極めて高い、ニーズはある程度高いとの回答は、合計で 84. 7%となり、全体の 8 割を超える結果となった。

当該学部学科に対する社会的ニーズについての質問では、「ニーズはある程度高い」が 165 件（54.8%）と最も多く、次いで「ニーズは極めて高い」が 90 件（29.9%）、「ニーズはあまり高くない」が 35 件（11.6%）、「ニーズは高くない」が 9 件（3.0%）、無回答が 2 件の順となっている。

「ニーズは極めて高い」、「ニーズはある程度高い」を合計すると 255 件（84.7%）となり、全体の 8 割を超える結果となった。

【グラフ】当該学部学科に対する社会的ニーズについて＜問 4 の結果より＞



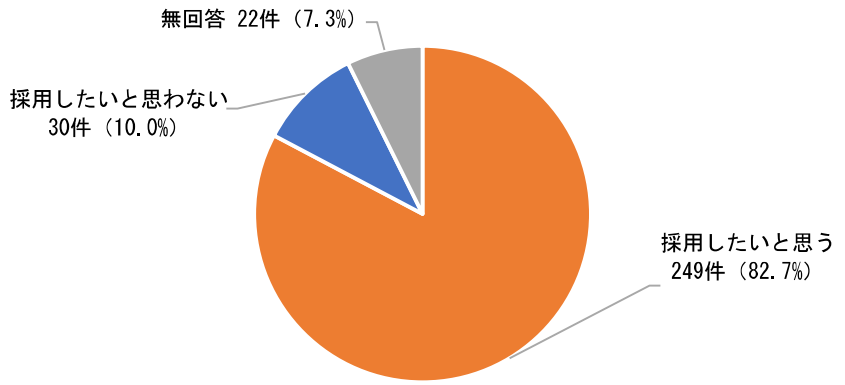
● 採用可能人数は、予定している入学定員 70 名を大きく上回る 418 人であった。

当該学部学科の卒業生に対する採用の意向については、249 件（82.7%）が「採用したいと思う」と回答し、8 割を超える企業が採用意欲を示す結果となった。またこの 249 件から示された具体的な採用可能人数は、「人数は未定」が 85 件（34.1%）と最も多く、次いで「1 人」が 68 件（27.3%）、「2 人」が 55 件（22.1%）、「3 人」が 18 件（7.2%）、「5 人以上」が 17 件（6.8%）、「4 人」が 4 件（1.6%）、無回答が 2 件の順となった。

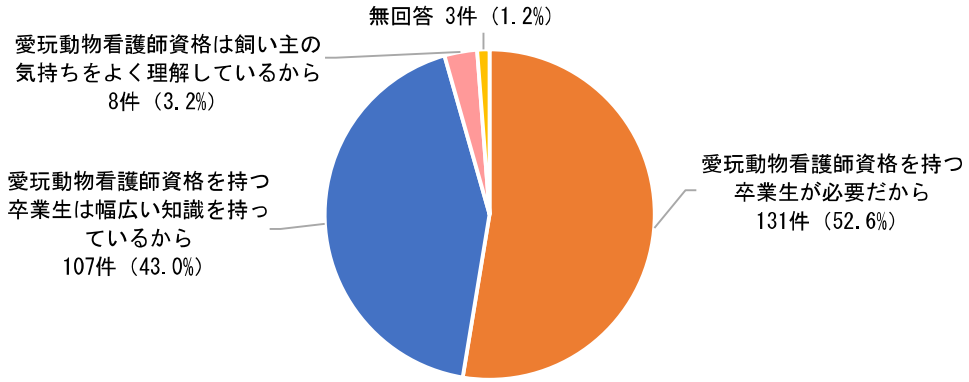
この採用可能人数の合計は 418 人（「5 人以上」は 5 人、「人数は未定」は 1 人、無回答は 0 人として集計）となり、当該学部学科における入学定員の 70 名を十分に上回る回答を得た。

採用したい理由については、「愛玩動物看護師資格を持つ卒業生が必要だから」が 131 件（52.6%）と最も多く、次いで「愛玩動物看護師資格を持つ卒業生は幅広い知識を持っているから」が 107 件（43.0%）、「愛玩動物看護師資格は飼い主の気持ちをよく理解しているから」が 8 件（3.2%）の順となった。

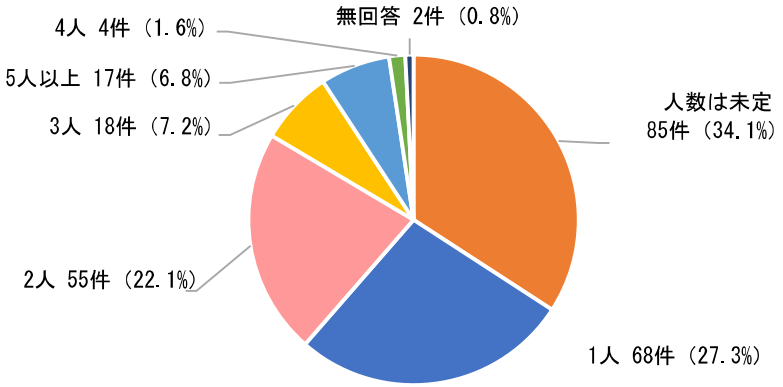
【グラフ】当該学部学科の卒業生に対する採用の意向について＜問５の結果より＞



【グラフ】採用したい理由について＜問６の結果より＞

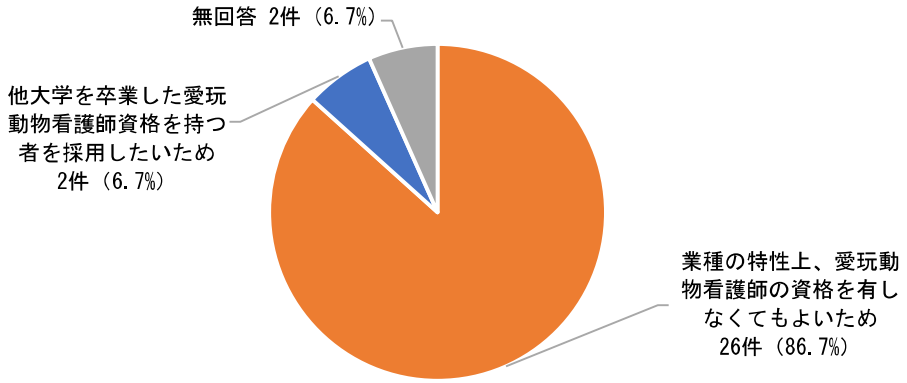


【グラフ】採用可能人数について＜問７の結果より＞



また、採用しない理由については、「業種の特性上、愛玩動物看護師の資格を有しなくてもよい」ためが 26 件（86.7%）、「他大学を卒業した愛玩動物看護師資格を持つ者を採用したいため」が 2 件（6.7%）、無回答が 2 件であった。

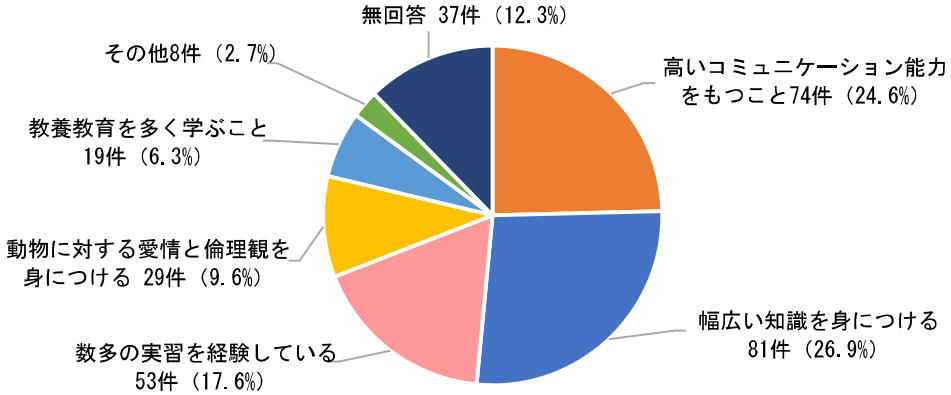
【グラフ】採用したいと思わない理由について＜問 8 の結果より＞



● 「幅広い知識を身につける」が 26.9%、「高いコミュニケーション能力をもつこと」が 24.6%

当該学部学科に対する期待についての質問では、「幅広い知識を身につける」が 81 件（26.9%）と最も多く、次いで、「高いコミュニケーション能力をもつこと」が 74 件（24.6%）、「数多の実習を経験している」が 53 件（17.6%）、「動物に対する愛情と倫理観を身につける」が 29 件（9.6%）、「教養教育を多く学ぶこと」が 19 件（6.3%）、「その他」が 8 件、無回答が 37 件の順となっている。

【グラフ】当該学部学科に対する期待について＜問 9 の結果より＞



４．「設置構想に係る人材需要アンケート調査」集計結果の分析

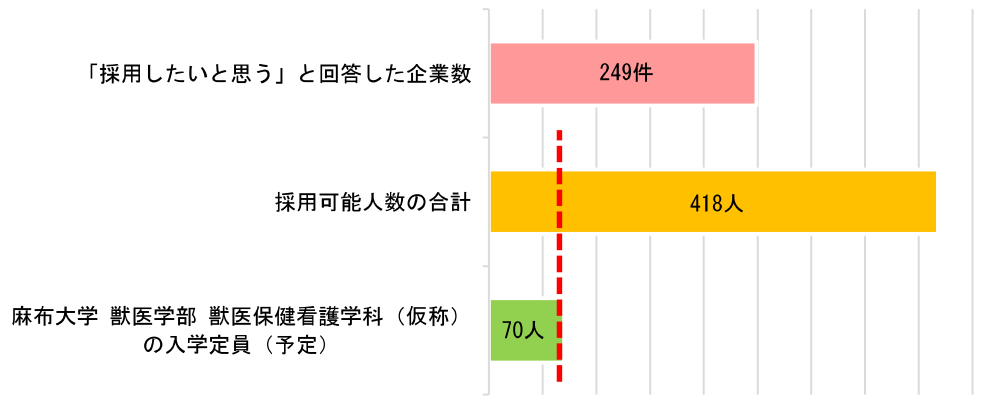
当該学部学科の卒業生を「採用したいと思う」と回答した企業 249 件（問 5）の採用可能人数の結果（問 7）は、以下の通りである。

【表】採用可能人数について＜問 7 の結果より＞

No	選択項目	回答数	採用可能人数
1	1 人	68	68 人
2	2 人	55	110 人
3	3 人	18	54 人
4	4 人	4	16 人
5	5 人以上	17	85 人
6	人数は未定	85	85 人
7	無回答	2	0 人
合計		249	418 人

※5 人以上は 5 人、人数は未定は 1 人、無回答は 0 人として集計

【グラフ】当該学部学科卒業生の採用可能人数について



【表】　業種別採用可能人数について＜問 2・問 7 の結果より＞

No	選択項目	採用可能人数	構成比（%）
1	動物医療分野	373	89.2%
2	バイオメディカル分野（医薬品製造・販売等）	9	2.2%
3	食品分野（食品製造・販売等）	6	1.4%
4	その他動物関連分野	30	7.2%
合計		418	100.0%

麻布大学が 2024(令和 6)年 4 月に設置構想する「獣医学部 獣医保健看護学科（仮称)」の卒業生を 249 件の企業が「採用したいと思う」と回答し、その件数に採用可能人数を乗じた合計の 418 人となった。

また、採用可能人数を業種別にみると、動物診療施設などの「動物医療分野」が 373 人（89.2%）であり、当該学部学科が養成する「獣医療チームの要（かなめ）＝愛玩動物看護師」に対する需要が高いことが分かる。

以上の結果より、麻布大学が予定する入学定員の 70 名を大きく上回る回答結果であるため、当該学部学科の人材需要の見通しは問題なしと判断できる。

添付資料

麻布大学 獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）
「リーフレット」
「概要説明プリント」
「人材需要アンケート調査票」
（アンケート用紙/Web アンケートフォーム）

【リーフレット 1/2】

NEW DEPARTMENT

START!!

獣医学部

獣医保健看護学科（仮称）

2024年4月

開設予定

特設サイト公開中！

麻布大学
AZABU UNIVERSITY

設置構想中

※入試は2023年度実施（2024年4月入学）
※設置計画は予定であり、内容を変更する可能性があります

【リーフレット 2/2】

生命（いのち）を看（み）つめ、生命（いのち）を護（まも）る

全国で最長の130年以上におよぶ獣医学教育のノウハウを生かし、
患者（伴侶動物）に寄り添い、飼い主に信頼される
「獣医療チームの要（かなめ）＝愛玩動物看護師」を養成します。

POINT 1

伝統のチーム獣医診療

4年間、獣医学科の学生と同じ環境で学びます。獣医診療チームの一員として、飼い主の期待にこたえ、動物のアドボカシー*となりうる専門性と人間性を兼ね備えた人材を育成します。

アドボカシーとは？　自分の意思を伝えることができない動物にかわり、意思を伝えるものの意味

POINT 2

最先端の獣医療と実践教育

国内の獣医学系大学の動物病院としてはトップクラスの規模を誇り、最新の医療機器や分析機器を完備した獣医臨床センター（附属動物病院）で、高度な臨床経験をつむことができます。また、公益社団法人日本動物病院協会と包括協定を締結し、全国の動物病院での実習経験を提供します。

POINT 3

専門性＋αを培う幅広い学び

麻布大学の獣医保健看護学科の学びは、獣医診療にとどまりません。動物の行動特性や社会性、ヒトとの共生や相互作用など、幅広い学びにより、チーム獣医診療＋αを獲得できます。

POINT 4

学びを深める充実した施設

麻布大学には、附属動物病院はもちろん、産業動物臨床教育センター（LAVEC）、博物館など多様で充実した教育施設があります。

POINT 5

全国No.1の就職ネットワーク

麻布大学は、臨床獣医師輩出数が国内No.1という実績を誇っています。全国にいる麻布OB・OGの獣医師ネットワークを活用し、着実に動物病院に就職し活躍できるよう支援します。

愛玩動物看護師が国家資格になります！

麻布大学
AZABU UNIVERSITY

〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺1-17-71
https://www.azabu-u.ac.jp/

獣医学部
- 獣医学科
- 動物応用科学科
- 獣医保健看護学科（仮称）

生命・環境科学部
- 臨床検査技術学科
- 食品生命科学科
- 環境科学科

TEL 042-769-2032
MAIL nyushi@azabu-u.ac.jp（入試広報課）

JR横浜線 矢部駅 下車
北口から 徒歩4分
※お車でのご来場はご遠慮ください。

LINEで最新情報をチェック！

【概要説明プリント】

麻布大学 獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）

Department of Veterinary Nursing and Health Science

2024年4月 開設予定 ※設置構想中

開設予定	修業年限	入学定員	学位名称
2024（令和6）年4月	4年	70名	学士（獣医保健看護学）

［養成する人材像］

全国で最長の130年以上におよぶ獣医学教育のノウハウを生かし、患者（愛玩動物・伴侶動物）に寄り添い、飼い主に信頼される「獣医療チームの要＝愛玩動物看護師」を養成

愛玩動物看護師として、動物愛護および適正飼養など、ヒトと動物の健康と福祉、QOLの向上にかかわる分野の科学的根拠に基づいた貢献ができ、さらにヒトと動物の生命と福祉および未来の共生社会に対して、社会的使命を遂行できる能力を持つ人材を養成します。

［獣医保健看護学科の特色］

1 獣医学科と相互に連携しており、獣医診療の補助、動物看護、動物愛護及び動物の心身の健康と安全を守り、人に危害を加えたり迷惑をかけないよう適正に飼養することに関する知識と技術を深く学ぶことができる。

2 附属動物病院が併設されており、獣医療に関する技術や知識を実践的に学ぶことができる。また、公益財団法人日本動物病院協会と包括協定を締結し、質の高い学外実習場で学ぶことができる。

3 獣医学科・動物応用科学科との併設により、愛玩動物（犬・猫）に限らず多種多様な動物に関する専門知識や情報を活用して、学ぶことができる。

4 愛玩動物（犬・猫）の看護にとどまらず、動物と人の健康と福祉の増進、多種多様な動物との共生に貢献できる技術と知識を習得できる。

5 愛玩動物及び適正飼養の専門家として、動物愛護管理を担当する公務員、製薬企業等の動物実験施設、動物関連企業など、動物病院以外も含めた多様な進路が想定できる。

［カリキュラム］

基礎動物学、基礎動物看護学、臨床動物看護学、愛護・適正飼養学などの科目を幅広く学ぶとともに、附属動物病院などで最先端の獣医療を実践的に学ぶことができます。

科目の例

基礎動物学	基礎動物看護学	臨床動物看護学	愛護・適正飼養学
動物形態機能学 / 生命倫理・動物福祉 / 動物行動学 / 比較動物学 / 動物栄養学 / 関連法規 / 動物繁殖学	動物看護学概論 / 動物感染症学 / 動物病理学 / 動物薬理学 / 公衆衛生学	動物内科看護学 / 動物外科看護学 / 動物臨床看護学 / 動物臨床検査学 / 動物医療コミュニケーション	愛玩動物学 / 人と動物の関係学 / 適正飼養指導論 / 動物生活環境学 / ペット関連産業概論

［想定される卒業後の進路］

- 愛玩動物看護師として動物病院への就職
- 動物愛護及び適正飼養の専門家として公務員
- 試験研究機関・動物実験施設
- 動物用医薬品を含む製薬企業
- 動物の栄養管理指導者／ペット用品・ペットショップ、ペット関連業界など動物関連企業の就職
- 大学院への進学

［取得可能な資格・免許］

- 愛玩動物看護師（国家試験受験資格）
- 食品衛生監視員（任用資格）

［初年度学納金（他大学を含む）］ 麻布大学獣医学部獣医保健看護学科（仮称）は予定、他は令和6年度入学者（ホームページ掲載情報より）。諸会費、教材費等は含まず。

大学	所在地	学部	学科	入学金	授業料・施設設備費・実習費等	初年度納入金
麻布大学	神奈川県相模原市	獣医学部	獣医保健看護学科（仮称）	250,000円	1,500,000円	1,750,000円
日本獣医生命科学大学	東京都武蔵野市	獣医学部	獣医保健看護学科	250,000円	1,370,000円	1,620,000円
帝京科学大学	東京都足立区	生命環境学部	アニマルサイエンス学科	260,000円	1,280,000円	1,540,000円
ヤマザキ動物看護大学	東京都八王子市	動物看護学部	動物看護学科	250,000円	1,450,000円	1,700,000円

［東京都心・横浜からのアクセス］

※上記は構想中の概要であり、変更となる可能性があります。

【アンケート用紙 1/2】

麻布大学 獣医学部 獣医保健看護学科（仮称）

人材需要アンケート調査票

（対象：人事・採用ご担当者様）

麻布大学では、2024年4月に獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」の設置構想中を構想しております。本学では、このアンケート調査を通してご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えております。なお、回答いただいた皆様から得られた情報は、学科の設置構想に関わる統計資料及び文部科学省への提出書類の一部としてのみ活用いたします。施設・個人が特定されることはございません。つきましては、別紙の概要をご覧いただいた上で、アンケート調査へのご協力をよろしくお願い申し上げます。
※このアンケート調査は麻布大学から委託された第三者機関（株式会社高等教育総合研究所）が実施しています。
※概要及びアンケートに記載されている新学科の内容については予定であり、変更される可能性がございます。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

正しい回答　誤った回答

・記入は必ずシャープペンシル、または黒鉛筆を使用し、訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
・解答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。
※正しい回答のように丁寧にマークしてください。誤った回答の場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。

問 1 貴社・貴施設の本社（本部）所在地についてお教えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- ○ 北海道
- ○ 青森県
- ○ 岩手県
- ○ 宮城県
- ○ 秋田県
- ○ 山形県
- ○ 福島県
- ○ 茨城県
- ○ 栃木県
- ○ 群馬県
- ○ 埼玉県
- ○ 千葉県
- ○ 東京都
- ○ 神奈川県
- ○ 新潟県
- ○ 富山県
- ○ 石川県
- ○ 福井県
- ○ 山梨県
- ○ 長野県
- ○ 岐阜県
- ○ 静岡県
- ○ 愛知県
- ○ 三重県
- ○ 滋賀県
- ○ 京都府
- ○ 大阪府
- ○ 兵庫県
- ○ 奈良県
- ○ 和歌山県
- ○ 鳥取県
- ○ 島根県
- ○ 岡山県
- ○ 広島県
- ○ 山口県
- ○ 徳島県
- ○ 香川県
- ○ 愛媛県
- ○ 高知県
- ○ 福岡県
- ○ 佐賀県
- ○ 長崎県
- ○ 熊本県
- ○ 大分県
- ○ 宮崎県
- ○ 鹿児島県
- ○ 沖縄県

問 2 貴社・貴施設の業種について、ご回答ください。

- ○ 動物医療分野
- ○ バイオメディカル分野（医薬品製造・販売等）
- ○ 食品分野（食品製造・販売等）
- ○ その他動物関連分野

問 3 貴社・貴施設の従業員数について、ご回答ください。

- ○ 1～10名未満
- ○ 10名～20名未満
- ○ 20名～30名未満
- ○ 30名～40名未満
- ○ 40名～50名未満
- ○ 50名～100名未満
- ○ 100名～500名未満
- ○ 500名～1,000名未満
- ○ 1,000名以上

問 4 貴社・貴施設は、獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」は、社会的ニーズが高いと思われますか。

- ○ ニーズは極めて高い
- ○ ニーズはある程度高い
- ○ ニーズはあまり高くない
- ○ ニーズは高くない

問 5 貴社・貴施設では、獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」を卒業した学生について、採用したいと思われますか。

- ○ 採用したいと思う
- ○ 採用したいと思わない（問8にお進みください）

1

本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。

【アンケート用紙 2/2】

問６ 貴社・貴施設で採用したいと考えられた理由は何でしょうか。

- ○ 愛玩動物看護師資格を持つ卒業生が必要だから
- ○ 愛玩動物看護師資格を持つ卒業生は幅広い知識を持っているから
- ○ 愛玩動物看護師資格は飼い主の気持ちをよく理解しているから

問７ 採用する場合の採用可能人数をお教えください。

○ 1人　○ 2人　○ 3人　○ 4人　○ 5人以上　○ 人数は未定

問８は、問５で「採用したいと思わない」と回答した方のみ、お答えください。

問８ 問５において「採用したいと思わない」と回答したことについて、理由を教えてください。

- ○ 他大学を卒業した愛玩動物看護師資格を持つ者を採用したいため
- ○ 業種の特性上、愛玩動物看護師の資格を有しなくてもよいため

問９ 獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」の教育に対して、もっとも期待される点は何でしょうか。

- ○ 動物に対する愛情と倫理観を身につける
- ○ 幅広い知識を身につける
- ○ 数多の実習を経験している
- ○ 教養教育を多く学ぶこと
- ○ 高いコミュニケーション能力をもつこと
- ○ その他

問10 差し支えなければ、貴社・貴機関名をお教えください。※どの企業・機関にご返送いただいたかを把握するためのお伺いであり、本アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・団体が識別できる情報として公表されることはございません。

質問は以上です。ご回答ありがとうございました。

2

本アンケート調査用紙に印刷されている
QRコードは集計時に使用するものです。
個人の特定を目的とするものではありません。

【Web アンケートフォーム 1/2】

【Web アンケートフォーム 2/2】

麻布大学 獣医学部獣医保健看護学科（仮称）
設置構想についてのアンケート調査

（対象：人事・採用ご担当者様）

4ページ目（全4ページ）

問4　貴社・貴施設は、獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」は、社会的ニーズが高いと思われますか。 必須

選択してください

問5　貴社・貴施設では、獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」を卒業した学生について、採用したいと思われますか。 必須

- 採用したいと思う
- 採用したいと思わない

送信

戻る

麻布大学 獣医学部獣医保健看護学科（仮称）
設置構想についてのアンケート調査

（対象：人事・採用ご担当者様）

4ページ目（全4ページ）

問4　貴社・貴施設は、獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」は、社会的ニーズが高いと思われますか。 必須

ニーズは極めて高い

問5　貴社・貴施設では、獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」を卒業した学生について、採用したいと思われますか。 必須

- 採用したいと思う
- 採用したいと思わない

貴社・貴施設で採用したいと考えられた理由は何でしょうか。 必須

- 愛玩動物看護師資格を持つ卒業生が必要だから
- 愛玩動物看護師資格を持つ卒業生は幅広い知識を持っているから
- 愛玩動物看護師資格は飼い主の気持ちをよく理解しているから

採用する場合の採用可能人数をお教えください。 必須

- 1人
- 2人
- 3人
- 4人
- 5人以上
- 人数は未定

獣医学部「獣医保健看護学科（仮称）」の教育に対して、もっとも期待される点は何でしょうか。 必須

- 動物に対する愛情と倫理観を身につける
- 幅広い知識を身につける
- 数多の実習を経験している
- 教養教育を多く学ぶこと
- 高いコミュニケーション能力をもつこと
- その他

差し支えなければ、貴社・貴施設名をお教えください。※どの企業・団体にご返送いただいたかを把握するためのお伺いであり、本アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業・団体が識別できる情報として公表されることはございません。 任意

送信

戻る